Official Guide Book
2020
TOKYO
WHISKY & SPIRITS
COMPETITION
洋酒部門

主催者挨拶

２回目を迎えるにあたって新たに焼酎部門も新設し、昨年８月から着々と準備を進めてきました。11月には250名近いジャッジの人選も決まり、エントリーボトルの受け付けも順調に行われていました。年明けに最終的な出品ボトルが決まり、フライトの組み合わせ作業を急ピッチに進めている時に、突如起きたのが、新型コロナウイルスの感染でした。ダイヤモンドプリンセス号や中国武漢の様子を連日テレビで見るにつけ、これは只事ではないと悟りました。結局３月に３日間にわたり開催される予定だった審査会は５月に延期されましたが、その延期開催も、緊急事態宣言で中止に追い込まれてしまいました。そこで止むなく考えだされたのがリモート審査という在宅審査でした。それから約２ヵ月半。ようやくTWSCの洋酒部門すべてが完了し、この「公式ガイドブック2020」を出版できることになりました。

一度は中止を考えた私を叱咤激励し、鼓舞してくれた実行委員の各位、そして全国の審査員、さらにコロナ禍の中、リモート審査に奔走してくれたウイスキー文化研究所のスタッフに、心より感謝を申し上げます。焼酎審査も初めてですが、リモート審査も初めて。コロナで世の中は一変し、何もかもが新しいことの連続でしたが、今はやり遂げることができた喜びで一杯です。スタート時に考えていた、毎年新しいことにチャレンジする、そして10年、20年と継続する。そのことの大切さを改めて学ばせてもらった今年のTWSC2020だったかもしれません。ぜひこの経験を生かし、３回目に向けて、より一層の努力をしたいと思っています。

2020年７月10日
TWSC実行委員長／ウイスキー文化研究所代表　土屋守

後援

日本テキーラ協会／日本ラム協会／日本ウォッカ協会／日本コニャック協会／日本洋酒酒造組合／一般社団法人 日本のSAKEとWINEを愛する女性の会（SAKE女の会）／駐日アイルランド大使館／アメリカ大使館 農産物貿易事務所／駐日アルメニア共和国大使館／ウェールズ政府／オランダ王国大使館農務部／在日カナダ大使館／駐日ジャマイカ大使館／スコットランド国際開発庁／台北駐日経済文化代表処／在日ドイツ連邦共和国大使館／在日メキシコ大使館

Contents

02 総評／審査方法
11 最高金賞
15 金賞
31 銀賞
49 銅賞
57 特別賞
カテゴリー・ウィナー
ディスティラリー・オブ・ザ・イヤー
66 審査員紹介
68 実行委員からの提言
78 Best of the Best 発表

Staff List

■編集・発行人
土屋 守

■TWSC2020運営担当
加藤寛康
望月麻紀

■編集
土屋茉以子
五十嵐順子
定光加奈子
植竹明彦
佐原慎之介
品田涼太

■広告営業
檀野拓馬
渡辺義治

■デザイン
福野純平（I'll Products）
稲田佳菜子（I'll Products）
儘田 均（ウイスキー文化研究所）

■写真
藤田明弓（ボトル撮影）
櫻井将士
土屋 守／渋谷 寛

■発行
株式会社ウイスキー文化研究所／
TWSC実行委員会

■印刷
日経印刷株式会社

TWSC
2020
総評



TWSC実行委員長　土屋 守

キーワードは ウッドマネジメント シェリー樽に高評価

拡大するコロナ禍の中で、今年のTWSCは二転、三転した。
3月の審査会は5月に延期されたが、緊急事態宣言を受けて、それも中止。
10人程度の審査員を呼び寄せ、10日くらいかけて行う案も浮上したが、
外出自粛要請でそれも叶わなくなった。
そんな中で苦肉の策として考え出されたのがリモート審査だった。
異例づくめのTWSCだったが、そこには思わぬ収穫も。
2ヵ月遅れで行われた審査から見えてきたものとは──。

談＝土屋 守　文＝編集部
写真＝土屋守、渋谷寛

新型コロナウイルスの影響を受け、第２回のTWSCの実施は苦悩の連続だった。予定していた審査会は当初、250人近い審査員と共に、国内外から出品された427点に上るウイスキーとスピリッツを吟味する計画だった。しかし、感染拡大の勢いは増すばかりだった。審査会は断念したが、実行委員会ではTWSC2020の実施を求める声が相次いだ。実施するにしても結果発表が当初の予定から大幅に遅れるようでは、出品者の今年の商品プロモーションに間に合わない。感染症対策と時間の制限の中で選んだのがリモート審査だった。

審査員の数は絞らざるを得なかった。そこで「ウイスキーガロア」のテイスターやマスター・オブ・ウイスキー、バーボン、コニャック、ブランデー、ラム、テキーラの専門家ら37人に依頼。出品酒を注ぎ分けたミニボトル2000本超を準備し、各自に送付した。審査員の点数の開きが昨年ほどではなく、可能な限りの最良の布陣で審査に臨めたと考えている。また、審査会の場の雰囲気も大

Mamoru Tsuchiya

切だが、リモート審査により個々人が真剣にお酒と向き合えたことも、よかったと思っている。結果、出品酒の約８割が銅賞以上を受賞した。出品酒は、飲むため、売るために造られたものである以上、もっともな結果と考えている。ウイスキーに関していうと、スコッチは最多の100本近くが出品されながら、最高金賞が２つしかなかった。これは審査員のスコッチについての経験値が高く、審査基準が厳しいがゆえの結果ではないかとみている。

２回目にして見えてきたことがある。一般的な愛好家はアイラモルトのようなスモーキーなものへの評価が高いが、コンペでブラインドテイスティングしてみると、意外と点数が伸びない。一方で、シェリー樽系の点数は押しなべて高い。産地国を越えたシングルモルトの王座を決める「ベスト・オブ・ザ・ベスト」は、昨年がグレンファークラス シングルカスク 1989“ブラック・ジョージラベル”で、これもシェリー樽。今回の最高金賞12本のうち７本がシングルモルトで、そのうち３本がシェリー樽、１本がワイン樽だった（結果は12ページ〜参照）。コンペではスイートで、濃縮されたものが高く評価される傾向がある。

進化続けるカバラン

顕著なのが台湾のカバランだ。プレミアムのソリストシリーズの中でも、シングルカスクのカスクストレングス３本が最高金賞に輝いた。個性と希少性で高評価されているだけでなく、ブラインドテイスティングでも高い評価を得た。真の実力があるということだ。

カバランは毎年ほぼすべての商品をTWSCに出品している。ワールドウイスキーのカテゴリーではカバランが10傑を独占した。カバランは、これまで考えられてきたウイスキー造りに適した冷涼な気候条件とは異なる、亜熱帯での独自の造り方を見出し、進化を遂げてきた。一番の特徴は樽使い、ウッドマネジメントだ。創業してわずか14年の間に樽の知見を積み上げてこられたのも、まさにこの気候条件が可能にした。スコッチは熟成に10〜15年かかるが、カバランは２年で結果が得られる。早いサイクルでいろんな実験ができる。スコッチの半世紀に匹敵する時間で経験値を高め、ウッドマネジメントを磨いてきた。今回のカバランのソリストは、前回の出品酒と樽番号が違う。さらに良いものが出てきたことになる。どこまで進化するのか。注目すると同時に、カバランを手本にする時代が来ているのかもしれない。

ジャパニーズ 新顔に高まる期待

TWSCでは今回「ジャパニーズウイスキー」の定義を明確にした。このカテゴリーに出品されたものは「正真正銘、日本で造られたもの」を意味する。カテゴリーの定義を明確にした意図やその結果については後述するが、順当な結果が出ている。たとえばエッセンス・オブ・サントリーウイスキーは１つが最高金賞、２つが最高金賞に近い高得点で金賞を受賞した。正当な評価がされていると思う。昨年は最高金賞だった山崎12年が今年は金賞だったのも、高得点の出品酒が上位にひしめき、ジャパ



カバラン蒸留所の巨大な熟成庫。５階建ての最上部はダンネージ式で、見事なシェリー樽が並んでいる。





リッテンハウスライを造るヘブンヒル蒸留所（上）。右はロンドンにあるシップスミス蒸留所。カール社製のポットスチル４基が稼働。

ニーズの最高金賞のラインがわずかに上がったためだ。

注目は、新設したニューメイクとジャパンメイドのカテゴリーだ。特にニューメイクは熟成２年未満ながら、出品酒の７割以上が銅賞以上を受賞した。世界初の鋳物スチルで造った三郎丸蒸留所（富山県砺波市）のニューメイクが、かぎりなく金賞に近い得点で銀賞を受賞したのは特筆に値する。こうしたニューメイクの受賞は、日本のクラフトウイスキーのポテンシャルの高さを示し、将来への期待が高まる。

アイリッシュは、世界的には需要が伸びているが、出品が少なく残念だった。100を超える銘柄があり、クラフト蒸留所も20ヵ所以上あるが、出品は10本に満たなかった。我々の努力が足りなかったと反省するところもあるが、すばらしいアイリッシュが誕生していることを、インポーターや日本の消費者にもっと知ってもらいたい。

ライウイスキーに高評価

バーボンは、金賞受賞が前回に比べて増えた。バーボンの専門家が審査員にそろったことで、うまく機能し、バーボンに対する正当な評価がなされた結果と考える。その中で、ライウイスキーが最高金賞を受賞したのは、シングルモルト人気が、ライウイスキーの個性の発見という形で表れているのではないかと思う。

全体としてはシングルモルトの受賞が圧倒的に多く、ブレンデッドの最高金賞はなかった。ただ、金賞に輝いたジョニーウォーカーの２本は、同じフライトの中で突出して良い評価を得ていた。今年、創業200年を迎えたジョニーウォーカーはここ１～２年で完成度を上げ、さらに新たな挑戦を見せ、底力を感じさせてくれた。

ブランデーは、コニャックの最高金賞がジャン フィユーだったことに注目したい。コニャックは５大メゾンで全生産量の９割以上が造られている。いくつもの農家を抱え、何十年もブレンドを繰り返してつくり出したハーモニーで、これはこれでもっと評価されていいと思う。その一方で、自分でブドウ栽培から醸造、蒸留、瓶詰まで手掛ける昔ながらの造り手は、コニャック地方で10ヵ所もない。ジャン フィユーの最高金賞は、大手にはできない個性をきちんと評価できた結果だ。TWSCがこうした小さな造り手のアピールのチャンスとなるといい。

ジン 原点回帰の傾向

ウイスキーに次いで多かったのがジンの出品だった。ジンに特化した蒸留所が世界的に増えている。スコットランドにはスコッチの蒸留所が約140ヵ所、ジンに特化した蒸留所が50ヵ所近くある。イングランドには300ヵ所以上あるといわれている。ウイスキー蒸留所よりもジンの方が多いほどだ。熟成の必要がないジンは造ればすぐに売れる。少ない資本で造りやすい。ただ、世界的なジンブームの中で、その行く末が見えてきた気がする。

クラフト化が進み、奇抜なボタニカルを用いて風土性を強調したジンが造られるようになっているが、物珍しさはあっても、おいしいとは限らないことがここ１～２年でわかってきた。ロンドンジンをベースに、基本のボタニカルであるジュニパーベリーの質にこだわるなど、王道を追求するジンへの評価が高い結果となった。これからはベースとなるベーススピリッツへのこだわり、蒸留のこだわりを追求した、真の“ジャパニーズジン”と呼べるものが定義されてもいいのではないかと考える。

ラム総評

日本ラム協会会長／TWSC実行委員・審査員　海老沢 忍

円熟味とフィニッシュの個性に軍配

ウイスキーのボトラーがラムを手掛ける傾向が止まらない。ウイスキーの原酒が世界的に不足しているため、多様な個性や熟成感という共通点をラムに見出しているのだろう。そんな中、ラムのインディペンデントボトラーが増えてきている。インフィニティスピリッツ社もその一つで、今回ケーンアイランド ニカラグア 12年 シングルエステートで最高金賞を受賞した。

ロン アブエロは、フィニッシュを変えたシリーズの３本が、最高金賞と金賞に輝いた。ラムに個性を求める傾向は、やはりシングルモルト人気というウイスキー文化にけん引されたものだろう。メーカーがニーズに応え、審査員も高く評価した結果だ。

受賞ボトルのラインナップを見ると、一口目に触れるラムらしい甘さと、円熟感があるものがそろった。日本のマーケットの傾向と違いはない。ただ、ラムにはフレンチ系、イギリス系、スペイン系のボトラーがあり、TWSCにはイギリス系、フランス系からの出品が少なかった。これは２年連続の課題と受け止めている。

一方で、オフィシャルのぶれないおいしさが、高評価を得たことも指摘しておきたい。金賞を受賞したバカルディ エイトだ。カクテルベースのイメージが強いラムだが、ストレートでの魅力が評価された。熟成感があり、値ごろ感もあるものが受賞することで、シングルモルト的な飲み方をしてみようという関心が高まっていくことも期待したい。

TWSC2020総評

テキーラ総評

日本テキーラ協会会長／日本メスカル協会顧問／TWSC実行委員・審査員　林 生馬

TWSC審査の先見性

テキーラおよびアガベスピリッツ部門では、最高金賞から銅賞まで30本が入賞した。

まず注目すべきは30本全てが「100%アガベ」の造りであったこと。日本市場はいわゆる「ミクスト」と呼ばれている副材料を使用したアガベスピリッツが全体の８割以上を占める状況の中、TWSC2020では入賞した30本全てが「100%アガベ」となったのは、世界的なトレンドと一致する。これはTWSC審査員諸氏に、市場の先見性があるからと考えている。

もう一点、金賞にメスカルが２本入賞しているのも、注目に値する。メスカルは2013年よりメキシコの新しい原産地呼称となり、アガベスピリッツの中ではテキーラに続く大きな市場を形成している。アガベを焼いた事によるスモーキーな香り、伝統的な少量生産の造りなどの魅力で、世界のスピリッツ市場では話題の中心の一つとなっている。

日本ではメスカルはまだ極めて小さな市場ながら、２本も金賞に入賞したのは、やはりTWSCの審査における市場の先見性を強く感じている。

TWSC独自のジャパニーズについての定義を提案 ニューメイク12品中、9品が銀賞・銅賞を受賞

世界5大ウイスキーの中で明確な定義がないのはジャパニーズだけ――
この不都合な真実は数年前から内外で物議を醸している。
エントリーの際に出品者が迷わないようにと、TWSCでは独自のジャパニーズの定義を作成した。

文・写真＝土屋 守

第1回のTWSCを終えた時に、ジャパニーズウイスキーの定義について明確にすべきではないかという声が実行委員、さらに一部のジャッジの間から挙がった。そうしないとエントリーの時に出品者が、どのカテゴリーで出品すべきか迷うのではないかという声だった。

ジャパニーズウイスキーの定義については実は2015年くらいから、私たちウイスキー文化研究所のほうでその必要性を認識し、独自に“私案”なるものを作成し、プレスを呼んで記者発表まで行っていた。しかし、それはあくまでも愛好家団体であるウイスキー文化研究所独自のもので、政府や酒造組合を動かすまでには至らなかった。

ウイ文研の私案は私案として、TWSCを開催するに当たっては、エントリーの規準を設ける必要があった。昨年はジャパニーズについて、「日本で糖化・発酵・蒸留を行い、日本で熟成をさせたもの」という最低限の枠組みを設けたが、2回目を迎えるにあたってもう少し規準を明確にし、独自の定義を設けてもよいのではないかというのが、実行委員の意見だった。

そこで昨年9月のエントリーの時に明文化したのが以下の種類と定義だった。

ジャパニーズウイスキーの種類と定義

1 日本産ウイスキーの種類と定義

TWSCは日本でつくられるウイスキーについて、以下の3つのカテゴリーに分類する。
①ジャパニーズウイスキー、②ジャパニーズニューメイクウイスキー、③ジャパンメイドウイスキー（日本製ウイスキー）である。

2 ジャパニーズウイスキーの定義

①のジャパニーズウイスキーは、日本の蒸留所で糖化、発酵、蒸留を行い、日本国内で熟成を行ったウイスキーのことで、以下のすべての項目を満たしてはじめて、「ジャパニーズウイスキー」「日本ウイスキー」と呼称できるものとする。

1．糖化 …… 穀物を原料に、大麦麦芽の酵素、あるいは天然由来の酵素（麹を除く）によって行う。
2．発酵 …… 酵母によってこれを行う。
3．蒸留 …… 蒸留はアルコール分95%未満で行う。
4．熟成 …… 木製の樽、あるいは木製の容器で熟成。期間は2年以上。
5．瓶詰 …… アルコール分40%以上で行う。色調整のための天然カラメルの添加は許される。

※原料の大麦麦芽、穀物については、国産・外国産どちらを使用しても構わない。

3 ジャパニーズニューメイクウイスキーの定義

ジャパニーズニューメイクウイスキーは熟成2年未満のウイスキーのことで、
その他の条件は①のジャパニーズウイスキーの定義と同じである。

4 ジャパンメイドウイスキーについて

ジャパンメイドウイスキーは外国産のウイスキーを輸入し、日本でジャパニーズウイスキーとブレンド（混合）し、瓶詰めしたウイスキーのことを指す。たとえ日本でブレンド、瓶詰めを行ったものでも外国産ウイスキーのみを用いたものは、これをジャパンメイドウイスキーと呼称できないものとする。それらはワールドウイスキーとなる。

外国産ウイスキーについては「穀物を原料とした蒸留酒で、木製容器で熟成」というウイスキーの3大要件を満たしていることが条件で、穀物以外のモラセス（廃糖蜜）などを使った醸造用アルコール（スピリッツ）の混和は認めないものとする。

EU規準の3年熟成でなく あえて2年熟成にこだわる

ジャパニーズウイスキーの定義はEUのウイスキーの定義に倣ったものだが、いくつかの点でEUのそれとは異なっている。まず第1に糖化は大麦麦芽の酵素、または天然由来の酵素としたが、麹を除くという一文を付け加えた。これは“こうじウイスキー”なるものが、出回り始めているためでもある。麹による糖化をウイスキーと呼べるかどうかは、まだ議論の余地があると思っている。

第2が木樽だけではなく木製容器も認めたことである。西洋にはいわゆる洋樽しかないが、日本には伝統的な木桶、和樽が存在する。次の熟成期間にも関連するが、木桶、和樽の可能性も考慮してもよいのではないかと考えた。これなら日本固有の木材を広範囲に試すことができる。洋樽は優れた貯蔵・熟成容器だが、樽にできる材が限られている。その点、曲げ加工が必要でない桶や和樽なら、あらゆる木材を試すことができると思うからだ。

熟成も欧米で一般的な3年熟成を謳わずに、あえて2年熟成とした。世界5大ウイスキーの中で熟成3年以上を謳っているのはスコッチとアイリッシュとカナディアンの3つ。アメリカンウイスキーはバーボンもテネシーも、ライ、ホイートウイスキーも熟成期間は規定されていない。極端なことを言えば樽詰め1日でも、バーボンウイスキーと呼称できる。ちなみに台湾は2年、インド（インディアンシングルモルト）は1年である。

そんな中、熟成2年としたのはEUやスコットランド、アイルランド、カナダに比べて日本ははるかに温暖で、熟成が早く進むと考えたからで、さらに今、日本ではクラフトと呼ばれる小規模蒸留所が相次いで誕生している。そんな小規模蒸留所にとって重要なのがキャッシュフロー。2年で「ジャパニーズウイスキー」として出荷できるメリットは小さくないと考えるからだ。なにもスコッチやアイリッシュに倣うことはないというのが、実行委員の考えだった。

もちろん、これはTWSCの出品エントリー用の規準でしかない。“私案”と呼ぶゆえんである。ただこのことで、熟成2年未満のニューポットやニューメイク、ニューボーンが、ウイスキーとして出品できることになった。欧米のコンペでは考えられないことである。今回ジャパニーズニューメイクウイスキーのカテゴリーで12品、ジャパンメイドウイスキーで7品もエントリーされたのは、特筆すべきことだったと考えている。

世界初の鋳物のスチルが稼働する三郎丸蒸留所（下）。右上は福島県郡山市の安積蒸溜所。右下は鹿児島の小正醸造の嘉之助蒸溜所。どれもユニークなクラフトだ。







審査概要

1 リモート審査までの道のり

新型コロナで中止の危機も

第１回TWSCを終え、まもなく第２回に向けて出品の募集が始まった。新設する焼酎部門を含め、国内外から685点が集まったのは昨年末のことだった。事務局を務める東京・広尾のウイスキー文化研究所には出品ボトルがずらり。所定の棚に収められたボトルは、全国から約250人が出席する３月の審査会まで出番待ちとなった。

この時、まさか審査会が延期、さらに取りやめになるとは実行委員もスタッフも予想していなかった。その後、中国・武漢での新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化し、日本国内の感染例も増えていった。TWSC実行委員会は３月に予定していた審査会を５月に延期した。社会的距離を保てるよう審査員の座席を見直すなど感染防止の準備も進められた。

しかし、政府が緊急事態宣言の発令に向け動き出したことなどから、審査会の中止は不可避になっていった。そこで、審査員の自宅や職場で個別に鑑定をしてもらう「リモート審査」の実施の可否を検討することに。実行委員やウイスキーガロアのテイスターを兼務する審査員への聴き取りでは「TWSCは続けるべきだ」「リモート審査は引き受ける」との意見が集まった。併せて、リモート審査に必要なミニボトルを入手する見通しも立った。TWSC2020の中止は回避された。



リモート審査のためのミニボトルへの詰め替え作業は、緊急事態宣言下のウイスキー文化研究所で行われることになった。そこで、実施前から全社員の体温測定を実施。詰め替え時にはマスクの着用はもちろん、作業台の消毒など衛生管理も行われた。ただし、スタッフが密集せずに作業を進めようとすると、用意するミニボトルの数や送付先は限られた。依頼した審査員は37人。それでもミニボトルは2000本を超えた。

審査員の責任感で完遂

４月末までに送付を終えると、審査員は経営する店舗や自宅でテイスティングに取り掛かった。５～８アイテムがセットになった１フライトごとに審査をする。ブラインドテイスティングのため銘柄の表記はなく、番号のみが記されたミニボトルを、審査員共通の指定グラスにそれぞれ注ぎ、番号順に鑑定する。

審査員は口々に言う。「厳正な審査のためには、毎日同じコンディションで臨むことが大切」。そのための方法は各自に任されたが、「１日１フライトのペースを守った」「毎日同じ時刻に同じ場所で行った」「直前の食事は毎回同じものにした」── などそれぞれに工夫をしていた。審査員の強い責任感に支えられ、リモート審査は完遂された。



2 審査方法

TWSC2020の洋酒部門には、130のカテゴリーに427点の出品があった。審査員は、５～８点ごとにまとめた１フライトずつ審査をする。そのため、事務局のウイスキー文化研究所では、フライトの組み合わせと、１フライトの中のテイスティングの順番について検討が繰り返された。１フライトの出品アイテムの顔触れは、なるべく同一カテゴリーになるよう組み合わせた。さらに、年数の若いものから古いもの、度数の低いものから高いもの、ノンピートからヘビリーピート、そしてバーボン樽からシェリー樽となるよう順番を決め、最終的に65フライトに分けることができた。

各フライトをどの審査員が担当するかも気を配った。昨年は１フライトを最低でも６人の審査員がジャッジしたが、今年は１フライトを８人にするため、審査員の数も増やす計画だった。しかし、リモート審査での実施となり、ミニボトルの詰め替え作業の制約から、１フライト４～６人に抑えざるを得なかった。土屋守実行委員長は「新型コロナウイルスの感染拡大防止のための苦肉の策だったとはいえ、本来は多様な視点から評価するほうが望ましい。しかし、審査員は少ないながらも各カテゴリーの専門家で固めたことで、精度の高い評価はできた」と話す。

ブラインドテイスティングで厳正に

審査員には何十本ものミニボトルが送られたが、厳正なブラインドテイスティングのため、銘柄に関する情報は一切含まれていなかった。示されたのはカテゴリーのみで、ミニボトルにはテイスティングの順番の番号が書かれているだけだ。審査員は統一のグラスに注ぎ、順番に従って味や香りを確かめた。①アロマ②フレーバー③総合（バランス・フィニッシュ）の三つの観点から100点満点で採点し、点数を記入したジャッジペーパーがウイスキー文化研究所に提出された。審査員の手元に到着してから、締め切りまでは約１ヵ月だった。

全審査員の点数が出そろったところで、最低点は２番目に低い点数に合わせる調整を行い、平均点を算出。カテゴリーごとに決められた最高金賞、金賞、銀賞、銅賞の得点ラインを越えたアイテムが各賞に輝いた。（文／編集部）







TOKYO
WHISKY & SPIRITS
COMPETITION

TWSC 最高金賞４品受賞！



Best of The Best
Single Malt Whisky

World Single Malt
No Age Statement
Category Winner

ウイスキー





Irish Whiskey
Category Winner

ラム



テキーラ



ウオッカ



Lead off Japan
リードオフジャパン株式会社　www.lead-off-japan.co.jp

お酒は 20 歳になってから

12

最高金賞

Tokyo Whisky & Spirits Competition 2020

Superior Gold Winner

90点以上のもので特に優れているものに与えられるのが、最高金賞である。昨年は527本のうち13本が最高金賞だったが、今年は427本の出品があり、そのうち12本が最高金賞に輝いた。その比率は2.8％で、やはり大変な難関と言わざるを得ない。

12本の内訳はウイスキーが８本、その他のスピリッツが４本である。ウイスキーのうち２本がスコッチで、同じく２本がジャパニーズ。アメリカンが１本で、残り３本はワールドウイスキーの台湾カバラン蒸留所のソリスト３本が選ばれた。その他のスピリッツはコニャックが１本、ラムが２本、テキーラが１本となっている。昨年選ばれたジンは、今回最高金賞に選ばれていない。

ウイスキーのうちスコッチのグレンファークラスと台湾のカバランソリスト オロロソシェリー、そしてジャパニーズの駒ヶ岳は２年連続の最高金賞である。しかも、どれもシングルカスクで、昨年選ばれたものとは樽が違っている（グレンファークラスは熟成年も蒸留年も異なっている）。それも含めてウイスキー中５本がシングルカスクで、樽ごとに個性が違うシングルカスクが圧倒的な強さを見せている。

アメリカンは今回初めて最高金賞が出たが、それがバーボンではなく、ライウイスキーだったというのが、世界的なライウイスキーブームを反映していて、興味深い結果となった。

（文責／土屋 守）





スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンファークラス 1997 22年 ザ・ファミリーリザーブ

Glenfarclas 1997 22 YO
The Family Reserve

700ml　53.2%
ミリオン商事
スコットランド

２年連続で最高金賞を受賞したのがスコッチのグレンファークラス。1836年にスペイサイドで創業した蒸留所で、今でも家族経営を続ける数少ない蒸留所の１つ。最大の特徴は100％シェリー樽熟成にこだわっていることで、しかもすべてヨーロピアンオーク製。これは日本の正規代理店ミリオン商事が選んだ樽で、シングルカスクのカスクストレングス。1stフィルのシェリー樽から瓶詰めされた22年物で、565本の限定。ヨーロピアンオーク特有の濃厚なシェリー風味、凝縮されたフルーツ香が特長。



スコッチウイスキー／シングルモルト

トマーティン 30年

Tomatin 30 YO

700ml　46%
国分グループ本社
スコットランド

トマーティン蒸留所は1897年に創業したハイランドの蒸留所で、1986年に宝酒造が買収し、日本企業が所有するスコッチ第１号の蒸留所となったところ。この30年はトマーティンのラインナップ中で最長熟のもので、現所長のグレアム・ユンソン氏が膨大な樽のストックの中から選んだもの。75％が1stフィルのバーボン樽で、25％がリフィル樽という構成になっている。クリーミーでとろけるような風味と、トロピカルフルーツを思わせる濃厚でみずみずしい香味が見事に融け合っている。



ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

エッセンス・オブ・サントリーウイスキー 山崎蒸溜所 リフィルシェリーカスク

The Essence of Suntory Whisky
Yamazaki Distillery Refill Sherry Cask

500ml　53%
サントリースピリッツ
日本

エッセンス・オブ・サントリーウイスキーは毎年数量限定でリリースされる知る人ぞ知るウイスキー。今回最高金賞に輝いたのは2019年に発売された第２弾のうちの１つ。リフィルのシェリー樽で熟成された山崎の原酒で、熟成は10年、53度という樽出しの度数で瓶詰めされている。リフィルシェリー樽というのは、一度ウイスキーの熟成に使われたシェリー樽のことで、これはスパニッシュオークのシェリー樽。1stに比べて滑らかで、すっきりとした味わいが特長だ。３本の中で最も評価が高かった。



ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

駒ヶ岳 1991 28年 シングルカスク No.160

Komagatake 1991 28 YO
Single Cask No.160

700ml　61%
本坊酒造
日本

マルス信州蒸溜所が長野県宮田村の中央アルプス・木曽駒ヶ岳の麓にオープンしたのは1985年のこと。これは1991年に蒸留された28年物で、シングルカスクのカスクストレングス。使用樽はアメリカンオーク樽で、樽番号は160番。シングルカスクの駒ヶ岳は昨年に続く２年連続の最高金賞受賞で、昨年は樽番1040の27年物だった。今回のものは１年熟成が長くなり、濃厚でリッチな風味がより増している。標高約800メートルという、高地ならではの長熟ウイスキーだ。

※■のついているものは特別賞も受賞しているもの。リストはP58。
※ボトルのスペックは、容量　アルコール度数　出品企業　生産国名の順に掲載。
※カテゴリーごとにアルファベット順で掲載。



アメリカンウイスキー／ライ

リッテンハウス ライ ボトルド・イン・ボンド

Rittenhouse Rye Bottled In Bond

750ml　50%
バカルディ ジャパン
米国

アメリカンウイスキーで最高金賞に輝いたのはバーボンではなく、ライウイスキー。ライウイスキーは原料に51%以上のライ麦を使ったウイスキーのことで、ライ由来のスパイシーで爽やかな香味が特徴となっている。リッテンハウスは旧メドレー蒸留所で造られていたブランドだが、現在はヘブンヒル社が造っている。これは1897年に制定された「ボトルド・イン・ボンド法」に則った製品で、４年熟成以上、度数50%の瓶詰めがその条件。リッチでスパイシーな個性がモルトファンも魅了する。



ワールドウイスキー／シングルモルト

カバラン ソリスト バーボン

Kavalan Solist
Ex-Bourbon Cask

700ml　57.1%
Kavalan Distillery
台湾

昨年に続いて２年連続、最高金賞に輝いたのが台湾のカバラン蒸留所。しかも昨年が１銘柄だったのに対し、今年はソリストの３銘柄が最高金賞という快挙を成し遂げた。ソリストというのはシングルカスクのカスクストレングスのシリーズに与えられた名前で、同社の製品はすべて音楽に関連するネーミングとなっている。Exバーボンはアメリカンホワイトオークのバーボン樽で、カバラン特有のトロピカルフルーツ香と、オーク由来のバニラやココナッツの風味が絶妙なハーモニーを奏でている。



ワールドウイスキー／シングルモルト

カバラン ソリスト オロロソシェリー

Kavalan Solist
Oloroso Sherry Cask

700ml　59.4%
Kavalan Distillery
台湾

カバラン・ソリストのオロロソシェリーはスペインの酒精強化ワイン、オロロソシェリーの熟成に使用された樽で寝かせたウイスキーで、ドライフルーツやナッツ、香辛料などオロロソシェリー樽が持っている、すべての要素が凝縮されている。色も黒褐色に近い琥珀色で、タンニンの渋味もしっかり効いている。もともと亜熱帯の台湾で造られる濃厚なカバランの原酒が、極上のオロロソシェリー樽と出合うことで、情熱的なラテンの血を注入されたかのようだ。２年連続最高金賞を受賞。



ワールドウイスキー／シングルモルト

カバラン ソリスト ヴィーニョ バリック

Kavalan Solist
Vinho Barrique

700ml　55.6%
Kavalan Distillery
台湾

カバラン躍進の秘密は厳選した樽もだが、６～７年前から導入した「STR」という独自の樽内処理法の成果でもある。これはシェービング、トースティング、リチャーリングの略で一度熟成に使った樽の内側を削り、その後トーストとリチャーを施すことで樽のポテンシャルを最大限に引き出している。このヴィーニョはまさにSTRの樽で、もともとはポルトガルの赤ワイン樽。トロピカルフルーツ香にアーモンドやチョコレートの香味が加わり、複雑の一語。台湾の気候にもっともマッチした樽という。



ブランデー／コニャック

ジャン フィユー No.1

Jean Fillioux No.1

500ml　46%
NOZOMI
フランス

ジャン フィユー社はコニャック地方のグランドシャンパーニュ地区に自社畑を所有する家族経営のメゾンで、現在の当主は５代目のクリストフ・フィユー氏。ブドウ栽培から発酵・蒸留・熟成・瓶詰まですべて一家で手掛ける“プロプリエテール”で、最良のブドウ畑と伝統の技術を駆使したそのコニャック造りには定評がある。これは同氏とNOZOMI（株）の鯉沼康泰氏がコラボした日本限定商品。1958～65年の最高の樽を選び、それをボトリング。唯一無二ということで、「ナンバーワン」だ。



ラム

ケーンアイランド ニカラグア 12年 シングルエステート

Cane Island Nicaragua 12 YO Single Estate

700ml　43%
都光
ニカラグア

ケーンアイランドは、2016年にアムステルダムに誕生したボトラーのブランド。オーナーのハイン・スミット氏は、欧州最大のラム流通業者で「ダッチ・ジャイアント」と呼ばれるE.A.シーア社のブレンダーでもある。コネクションを活かし、世界中の良質なラムを買い付けている。受賞ボトルの蒸留所は非公表。バナナやマンゴー、カカオを含むトロピカルかつ優しい香り。口当たりのよい滑らかな甘味から、ビターでスパイシーな味わいへと変化する。ジンジャーの様な余韻が心地よい。



ラム

ロン アブエロ フィニッシュ コレクション XV オロロソ

Ron Abuelo Finish Collection XV Oloroso

700ml　40%
リードオフジャパン
パナマ

パナマの蒸留酒市場をほぼ独占するバレラ・エルマノス社。サトウキビ畑1600ヘクタールを所有し、発酵、蒸留からボトリングまで一貫生産している。受賞ボトルは、アメリカンホワイトオーク樽での熟成後、オロロソシェリー樽で後熟させた、15年熟成のプレミアムなダークラム。香りは、熟れたリンゴやイチゴのフルーティさ、ナッツや煙草の香ばしさが重なり合う。味わいは、メープルシロップの甘味、ビターチョコの苦み、白胡椒のスパイシーさが際立つ。



テキーラ

ドン・フリオ アネホ

Don Julio Anejo

750ml　38%
キリン・ディアジオ
メキシコ

ドン・フリオは1942年にフリオ・ゴンザレス氏が興した蒸留所で、メキシコでフリオ・ゴンザレスは「プレミアム・テキーラの父」と称されている。彼は大きなアガベ・アスールのピニャ（球茎部）を厳選し、ミルキーな甘さを追求。ピニャの皮を深く剥くことで辛みを低減し、アガベの芯を取り除くことで苦味を抑え、現代のスムーズなテキーラの礎を作った。樽熟成も熟成庫を加湿することでバニリンを多く引き出している。TWSC 2019のレポサド最高金賞に続く最高金賞受賞となった。

79

金賞

Tokyo Whisky & Spirits Competition 2020

Gold Winner

今回金賞を受賞したのは427本中、79本で、これは全体の18.5％にあたる。つまり受賞率は２割弱ということになる。それでも昨年の受賞30本に比べて大幅に増えている。昨年の金賞受賞比率は１割にも満たなかったから（約６％）、３倍近くに増えているのだ。これはリモート審査で審査員の数をしぼったことも影響しているのかもしれない。それぞれのカテゴリーで専門家が揃い、一人のジャッジが平均で60～70アイテムをやることで、評価の平均化がはかれたことも大きいのだろう。点数的には一応86点以上を金賞としたが、限りなく最高金賞に近い高得点のボトルもいくつか存在した。

ここでも特筆すべきはカバランが９本金賞を受賞したことで、実に金賞の１割強がカバランという結果になった。さらに昨年は少なかったアメリカンの金賞受賞も割合が増えている。特にライウイスキーの評価が高いようだ。

ジンは出品数そのものはウイスキーに次いで多かったが（75本）、最高金賞はゼロで、金賞も８本にとどまっている。割合も全体の約10％と極端に少ない。ジンの中だけを見ても10.7％と、ウイスキーと比べると半分以下となっている（ウイスキーは20.6％）。これはジンの評価の難しさもあるが、クラフトがブームになり、ボタニカルの種類が多様になりすぎた弊害もあるのではないかと考えている。

（文責／土屋 守）







スコッチウイスキー／シングルモルト

1 アラン 10年

Arran 10 YO

700ml　46%　ウィスク・イー　スコットランド

ファーストフィルのバーボン樽熟成の原酒を中心に、シェリーホグスヘッドの原酒をヴァッティング。ハチミツや砂糖漬けのシトラス、リコリスなどの香り、蒸留所の特長である清らかでフルーティな味わいが感じられる。

スコッチウイスキー／シングルモルト

2 アラン 18年

Arran 18 YO

700ml　46%　ウィスク・イー　スコットランド

シェリーホグスヘッド樽で熟成させた原酒とファーストフィルのバーボン樽熟成原酒をヴァッティング。シロップ漬けの杏やトーストしたオークなどの香り、キャラメリゼしたオレンジや焼いた桃などの味わいが特徴的。

スコッチウイスキー／シングルモルト

3 ボウモア 15年

Bowmore 15 YO

700ml　43%　サントリースピリッツ　スコットランド

バーボン樽で12年熟成させたのち、オロロソシェリー樽で３年後熟。麦芽のフェノール値は25ppm前後とアイラの中では中庸。ウッディでチョコレートやレーズンなどを思わせる味わい、スモーキーな香りを楽しめる。

スコッチウイスキー／シングルモルト

4 ボウモア 18年

Bowmore 18 YO

700ml　43%　サントリースピリッツ　スコットランド

シェリー樽原酒の比率が高く、軽やかに漂うスモーク、トフィーのような甘みや完熟したフルーツのような味わい、重厚感がバランスよく感じられる。長期熟成ボトルの中では比較的安価で購入できるコスパのよい一本。

スコッチウイスキー／シングルモルト

5 カーデュ 18年

Cardhu 18 YO

700ml　40%　日本酒類販売　スコットランド

かつて「ウイスキー界の女帝」といわれたエリザベス・カミングが経営手腕を発揮した蒸留所。ジョニーウォーカーのキーモルトとして知られ、クセのないスムースな口当たり、麦芽や杏のようなニュアンスを感じる味わい。

※■のついているものは特別賞も受賞しているもの。リストはP58。
※ボトルのスペックは、容量　アルコール度数　出品企業　生産国名の順に掲載。
※カテゴリーごとにアルファベット順で掲載。

スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンファークラス 15年

Glenfarclas 15 YO

700ml　46%　ミリオン商事　スコットランド

家族経営を続ける希少な蒸留所。オロロソシェリー樽熟成のリリースが特徴。1988年以降はヨーロピアンオーク樽100%、4thフィルまで樽を使用する。プルーンやバターサンドなどシェリー樽熟成の味わいを堪能できる。

スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンファークラス 25年

Glenfarclas 25 YO

700ml　43%　ミリオン商事　スコットランド

定番商品の中では最長熟。香りはオレンジやバニラ。ボディはどっしりとしていて、ウッディなニュアンスやコーヒー、カカオなどのビターさを含んだ長熟のグレンファークラスらしい重厚さを味わえる。

スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンフィディック 18年 スモールバッチリザーブ

Glenfiddich 18 YO Small Batch Reserve

700ml　40%　サントリースピリッツ　スコットランド

18年以上熟成したスパニッシュオークのオロロソシェリー樽原酒とバーボン樽原酒をヴァッティングし、３ヵ月以上後熟。熟した果物やシナモンのような香り、アプリコットやメープルシロップなどの甘さが広がる。

スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンフィディック 21年

Glenfiddich 21 YO

700ml　40%　サントリースピリッツ　スコットランド

21年以上熟成のシェリー樽熟成原酒とバーボン樽熟成原酒をヴァッティングし、カリビアンラム樽で４ヵ月後熟。優しく華やかなバニラやフローラルの香り、ウッディな風味、洋梨、ライム等の複雑な味わい。

スコッチウイスキー／シングルモルト

グレングラント 18年

Glen Grant 18 YO

700ml　43%　アサヒビール　スコットランド

変形バルジ型と仏舎利塔型のポットスチルを有するグレングラント。原料はノンピート麦芽のみ。バーボン樽熟成原酒を中心とした18年は、蒸留所の特長である麦芽の風味やハチミツ、バニラの香味が豊かに感じられる。









スコッチウイスキー／シングルモルト

11 グレンモーレンジィ 18年

Glenmorangie 18 YO

700ml　43%　MHD モエ ヘネシー ディアジオ　スコットランド

アメリカンホワイトオークのバーボン樽で熟成。うち３分の１は、15年熟成させたのちオロロソシェリー樽で３年後熟させている。エキゾチックな果実や花の芳醇な香り、複雑で濃厚な味わいをつくりだしている。

スコッチウイスキー／シングルモルト

12 グレンモーレンジィ ネクター・ドール ソーテルヌカスク フィニッシュ

Glenmorangie Nectar d'Or Sauternes Cask Finish

700ml　46%　MHD モエ ヘネシー ディアジオ　スコットランド

バーボン樽で10年熟成したのち、世界三大貴腐ワインのひとつであるソーテルヌの樽で２年後熟させたもの。レモンやハチミツのような甘美な風味、爽やかな酸味とクリーミーな味わいの中にスパイシーなニュアンスも。

スコッチウイスキー／シングルモルト

13 グレンスコシア 18年

Glen Scotia 18 YO

700ml　46%　都光　スコットランド

ポットスチルは２基のみ。小規模の仕込みを行うグレンスコシア。バーボン樽熟成させた原酒をオロロソシェリー樽で後熟させた18年は、洋梨やバナナのような甘さ、奥には白胡椒のようなスパイシーさがある。

スコッチウイスキー／シングルモルト

14 ロッホローモンド 12年

Loch Lomond 12 YO

700ml　46%　都光　スコットランド

独特な形のローモンドスチルに加え、スワンネックのポットスチルと連続式蒸留機を有するロッホローモンド蒸留所。12年はノンピートとミディアムピートの２つの原酒をリフィル、リチャー、バーボンの３種の樽で熟成。

スコッチウイスキー／シングルモルト

15 モートラック 20年

Mortlach 20 YO

700ml　43.4%　MHD モエ ヘネシー ディアジオ　スコットランド

2.81回蒸留と呼ばれる複雑なシステムを採用し、「ミーティ（肉っぽい）」といわれる力強い味わいの原酒を造り出している。ファーストフィルおよびリフィルのヨーロピアンオーク樽のみで熟成させた重厚な味わい。

スコッチウイスキー／シングルモルト

16 ザ・シングルトン ダフタウン 18年

The Singleton Dufftown 18 YO

700ml　40%　キリン・ディアジオ　スコットランド

「ベル」などのブレンド用原酒として知られるダフタウン蒸留所のシングルモルト。ヨーロピアンオークのシェリー樽原酒とバーボン樽原酒をあわせた、バニラやトフィーなどを思わせるやさしい仕上がり。

スコッチウイスキー／シングルモルト

トマーティン 18年
Tomatin 18 YO

17

700ml　46%　国分グループ本社　スコットランド

リフィルのホグスヘッド樽で16年熟成させたのち、オロロソシェリー樽で２年間後熟。リンゴやシナモンなどの芳醇な香り、シトラスやカカオ、メープルシロップなどを連想させる力強く複雑な味わいが楽しめる。

スコッチウイスキー／シングルモルト

トマーティン 2010 No.396 BAR P-Coat 限定
Tomatin 2010 Cask No.396 Bottled Exclusive for Bar P-Coat

18

700ml　58%　国分グループ本社　スコットランド

「マスター・オブ・ウイスキー」の称号を持つ森田規代子氏が選んだ樽からボトリング。ファーストフィルのバーボン樽熟成で、味わいは濃厚でクリーミー。桃やチェリー、煮詰めたリンゴなどさまざまなフルーツが現れる。

スコッチウイスキー／ブレンデッド

ジョニーウォーカー 18年
Johnnie Walker 18 YO

19

700ml　40%　キリン・ディアジオ　スコットランド

カーデュ、グレンエルギンなどのスペイサイドのモルト原酒のほか、ハイランド、アイランズなど各地からの18年以上熟成の原酒をブレンド。スモーキーかつバニラやキャラメルなどを感じる豊かで丸みのある味わい。

スコッチウイスキー／ブレンデッド

ジョニーウォーカー ワインカスクブレンド
Johnnie Walker Blenders' Batch Wine Cask Blend

20

700ml　40%　キリン・ディアジオ　スコットランド

ブレンダーのエイミー・ギブソン氏が、ワインのように食事やデザートと楽しめるスコッチを目指して様々なワイン樽熟成原酒をブレンド。ローズアイルのモルト原酒やキャメロンブリッジのグレーン原酒などを使用。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

エッセンス・オブ・サントリーウイスキー 山崎蒸溜所 モンティージャワインカスク
The Essence of Suntory Whisky Yamazaki Distillery Montilla Wine Cask

21

500ml　55%　サントリースピリッツ　日本

スペイン・モンティージャ産の酒精強化ワインを詰めたスパニッシュオーク樽で９年熟成させたもの。ベリー系のドライフルーツ、黒糖、メープルシロップを思わせる香味と果実の酸味があり、淡くほろ苦い余韻が続く。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

エッセンス・オブ・サントリーウイスキー 山崎蒸溜所 スパニッシュオーク
The Essence of Suntory Whisky Yamazaki Distillery Spanish Oak

22

500ml　56%　サントリースピリッツ　日本

自社で製樽したスパニッシュオークの新樽で９年熟成。味わいは濃厚で、スパニッシュオーク由来のウッディさやスパイシーさ、新樽熟成による焼きプリンや焦がしたバターのような香ばしい甘みが広がる。









ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

白州 18年 23

Hakushu 18 YO

700ml　43%　サントリースピリッツ　日本

「森のような」と例えられる爽快な味わいと穏やかなスモークが特長の白州の長期熟成ボトル。メロンやマンゴーなどの熟したフルーツのようなコクと甘さ、深みのある心地よい余韻は多くの品評会で高い評価を得ている。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

イチローズモルト 秩父 オン・ザ・ウェイ 2019 24

Ichiro's Malt Chichibu On The Way 2019

700ml　51.5%　ベンチャーウイスキー　日本

これからの蒸留所の姿に思いを馳せ「道半ば」という名を冠したボトル。秩父蒸溜所の原酒のみをヴァッティングして瓶詰め、フレッシュなリンゴやバニラの香味、樽由来のタンニン等複雑な風味を生み出している。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

イチローズモルト 秩父 2012 7年 ウイスキートーク福岡2019オリジナルボトル 25

Ichiro's Malt Chichibu 2012 7 YO
for Whisky Talk Fukuoka 2019

700ml　62.2%　クラブバッカス実行委員会　日本

ウイスキートーク福岡「月と失われゆく動物」シリーズの第９弾で、アオウミガメをモチーフにしたラベルデザイン。運営チームが秩父蒸溜所を訪問し、サンプルを試飲し決定する。秩父らしい樽感と豊かな余韻が残る一本。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

駒ヶ岳 2013 6年 シングルカスク No.1689 26

Komagatake 2013 6 YO Single Cask No.1689

700ml　59%　本坊酒造　日本

マルス信州蒸溜所の3.5ppmのライトピート原酒をマディラワイン樽で６年以上熟成。ウッディでしっかりとしたボディ、ブルーベリーソースやプルーンを思わせる凝縮感のある味わい。限定176本のシングルカスク。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

駒ヶ岳 津貫エイジング ボトルドイン 2019 27

Komagatake Tsunuki Aging Bottled in 2019

700ml　56%　本坊酒造　日本

2016年にマルス信州蒸溜所で蒸留したモルト原酒を、マルス津貫蒸溜所の石蔵で熟成。バーボン樽熟成のモルト原酒が中心で、熟したリンゴや柑橘などの香味、クリーミーでリッチな甘みが広がる。限定2,382本。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

マルス信州 2013 5年 ウイスキートーク福岡2019オリジナルボトル 28

Mars Shinshu 2013 5 YO for Whisky Talk Fukuoka 2019

700ml　57%　クラブバッカス実行委員会　日本

ウイスキートーク福岡「太陽と鳳凰」シリーズの第５弾。ノンピート麦芽を原料にした原酒をシェリー樽で熟成。香ばしい樽感、レーズンやシロップの甘味と酸味、スパイシーなニュアンスが織りなすパワフルな味わい。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

29 山崎 12年

Yamazaki 12 YO

700ml　43%　サントリースピリッツ　日本

ジャパニーズウイスキーを代表するシングルモルト。バーボン樽、シェリー樽、ミズナラ樽で熟成された原酒をヴァッティング。繊細で複雑な味わいは、多種多様な樽を保有し、原酒をつくり分ける山崎蒸溜所ならでは。

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

30 山崎 18年

Yamazaki 18 YO

700ml　43%　サントリースピリッツ　日本

シェリー樽熟成原酒を中心に、ミズナラ樽の長期熟成原酒をヴァッティングした18年。シェリー樽由来のドライフルーツやチョコレートを思わせる華やかな香り、熟成感のある奥行きと甘美な味わいが楽しめる。

ジャパニーズウイスキー／ブレンデッド

31 響 21年

Hibiki 21 YO

700ml　43%　サントリースピリッツ　日本

キーモルトは熟成21年超の山崎の原酒を中心に白州、知多のグレーン原酒など三十数種類をブレンド。シェリー樽由来のレーズンや煮詰めたイチゴなどの華やかな香り、ビスケットやアーモンドなどの上品なコクが楽しめる。

ジャパニーズウイスキー／ブレンデッド

32 イチローズモルト & グレーン ジャパニーズブレンデッド リミテッドエディション 2020

Ichiro's Malt & Grain Japanese Blended Limited Edition 2020

700ml　48.5%　ベンチャーウイスキー　日本

ベンチャーウイスキーが保有する秩父蒸溜所及び羽生蒸留所（閉鎖）のモルトウイスキーと、川崎蒸留所（閉鎖）のグレーンウイスキーをブレンド。人気の秩父と閉鎖蒸留所の原酒を使用した、500本限定の希少なボトル。

アメリカンウイスキー／バーボン

33 ケンズチョイス ジャズ インストゥルメンタル サクソフォン

Ken's Choice Jazz Instrumental Saxophone

700ml　54.4%　Ken's bar 京橋本店　米国

松山謙氏がオーナーを務めるKen's Barオリジナルボトルの第７弾。ケンタッキー州の蒸留所（蒸留所名は非公開）で蒸留後、2006年から2012年まで熟成。その後日本へ運び、秩父蒸溜所で後熟させている。

アメリカンウイスキー／バーボン

34 ワイルドターキー レアブリード

Wild Turkey Rare Breed

700ml　58.4%　明治屋　米国

「希少品種（レアブリード）」と名付けられたボトルで、６年熟成、８年熟成、12年熟成の３つの原酒を使用。加水を一切行わずボトリングしているため度数が高く、ワイルドターキーの真髄が味わえると評判に。







アメリカンウイスキー／ライ

35 ワイルドターキー マスターズキープ・コーナーストーン

Wild Turkey Master's Keep Cornerstone

750ml　54.5%　明治屋　米国

2015年にマスターディスティラーに就任したエディー・ラッセル氏が手掛けるシリーズの第４弾。同氏が40年近いバーボン造りの経験と技術を生かし、９～11年熟成のライの樽の中から選りすぐった原酒を混ぜ合わせている。

アメリカンウイスキー／ライ

36 ウッドフォードリザーブ ライ

Woodford Reserve Rye

750ml　45.2%　ブラウン・フォーマン ビバレッジス ジャパン L.L.C.　米国

原料の比率はライ53%、大麦麦芽14%、コーン33%。ほどよくスパイシーで香ばしいニュアンス、アメリカンウイスキーらしいバニラやナッツなどの甘みのバランスがとれた一本。スムースでなめらかな飲み口も心地よい。

アメリカンウイスキー／モルト

37 ウエストランド アメリカンオーク

Westland American Oak

700ml　46%　レミー コアントロー ジャパン　米国

英国産麦芽２種類や、通常はビールの醸造に使われるローストした麦芽を含めた５種類の大麦麦芽を使用。酵母もベルギービールなどに使用されるベルジャン酵母を使うなど、革新的な方法で造られたシングルモルト。

ワールドウイスキー／シングルモルト

38 カバラン コンサートマスター ポートカスクフィニッシュ

Kavalan Concertmaster Port Cask Finish

700ml　40%　Kavalan Distillery　台湾

台湾のカバラン蒸留所のシングルモルトで、ポートワイン樽で熟成。リッチなボディで、樽由来のベリー系の香味のほか、トロピカルフルーツ、ハチミツ、マシュマロなどを思わせる味わい。度数40%の加水タイプ。

ワールドウイスキー／シングルモルト

39 カバラン コンサートマスター シェリーカスクフィニッシュ

Kavalan Concertmaster Sherry Cask Finish

700ml　40%　Kavalan Distillery　台湾

「ポートカスクフィニッシュ」に次ぐコンサートマスターシリーズの第２弾としてリリースされたもの。バーボン樽で熟成させた後シェリー樽で後熟、バニラや繊細なカカオの風味、熟したフルーツ等の香味を楽しめる。

ワールドウイスキー／シングルモルト

40 カバラン ディスティラリーリザーブ ピーティカスク

Kavalan Distillery Reserve Peaty Cask

300ml　55.6%　Kavalan Distillery　台湾

スモーキーなウイスキーを詰めた樽を再使用したカバラン初のピーティなウイスキーで、蒸留所限定ボトル。口当たりはクリーミーで、ほどよいスモークとトロピカルフルーツの甘美なフレーバーが混じり合い広がっていく。

ワールドウイスキー／シングルモルト

41 カバラン ディスティラリーリザーブ ラムカスク

Kavalan Distillery Reserve Rum Cask

300ml　57.1%　Kavalan Distillery　台湾

ラム酒樽で熟成させたカバランの１本。熟したメロンや桃のような芳醇な甘み、クローブやジンジャーなどの香辛料のニュアンスが加わった複雑な香味が特長。カスクストレングスの蒸留所限定ボトル。

ワールドウイスキー／シングルモルト

42 カバラン キングカー コンダクター

Kavalan King Car Conductor

700ml　46%　Kavalan Distillery　台湾

企業名「金車（キングカー）」を冠した初のボトル。風味の異なるさまざまなオーク樽をヴァッティングしたもの。南国フルーツ、ナッツなどの濃厚な香味、ノンエイジとは思えない熟成感のある味わいが楽しめる。

ワールドウイスキー／シングルモルト

43 カバラン オロロソシェリーオーク

Kavalan Oloroso Sherry Oak

700ml　46%　Kavalan Distillery　台湾

最高金賞受賞の「カバラン ソリスト オロロソシェリーカスク」を46%に加水調整したもの。アルコールの刺激が抑えられているため、ドライフルーツやナッツ、コーヒー、香辛料などの多層的な香味が優美に感じられる。

ワールドウイスキー／シングルモルト

44 カバラン ソリスト フィノシェリー

Kavalan Solist Fino Sherry

700ml　57.1%　Kavalan Distillery　台湾

辛口シェリー酒・フィノのソレラ樽で熟成。ドライで香ばしいアーモンドのような風味と、トフィー、ファッジのような優雅で甘みのある一本に仕上がっている。シングルカスクのカスクストレングス。

ワールドウイスキー／シングルモルト

45 カバラン ソリスト ポート

Kavalan Solist Port

700ml　57.8%　Kavalan Distillery　台湾

ポルトガル産酒精強化ワインの一つであるポートワインの樽を使用。カバラン特有のフルーティな味わいに樽由来の上質なチョコレートを思わせるタンニンや木の香り、かすかなスモークを含んだ甘みが加わっている。

ワールドウイスキー／シングルモルト

46 カバラン ソリスト ラムカスク やまいちオリジナルボトル

Kavalan Solist Rum Cask Yamaichi Original Bottle

700ml　57.1%　ドラジェ　台湾

「酒のやまいち」が選んだ特別な１樽からで、152本限定のシングルカスク、カスクストレングス。ふくよかな南国のフルーツの甘みとラム酒樽由来の焼き菓子のような風味、スパイシーな余韻が印象的。





ワールドウイスキー／シングルモルト

47 オマー カスクストレングス ピーテッドカスク No.11140745

Omar Cask Strength Peated Cask No.11140745

700ml　56.2%　Taiwan Tobacco & Liquor Corporation　台湾

2008年からウイスキー事業を開始した、台湾の南投蒸留所で造られたシングルカスクのカスクストレングス。ピートを効かせた大麦麦芽を原料に、バーボン樽で熟成。煮詰めたリンゴと豊かなスモークが感じられる。

ブランデー／コニャック

48 ドゥドニョン エリタージュ

Dudognon Heritage

700ml　41%　SARL Cognac Dudognon CL　フランス

ドゥドニョンは、ブドウ栽培から瓶詰まで一貫して家族で手がけるプロプリエテール。商品群の中で２番目に熟成が長いエリタージュは、エキゾチックなフルーツの香りがあり、丸みもあるがスパイシーさも感じる。

ブランデー／コニャック

49 ジャン フィユー クリストフ フィユー CF35

Jean Fillioux Christophe Fillioux CF35

500ml　42%　NOZOMI　フランス

グランドシャンパーニュの中でも最良の畑を所有するジャン フィユーの現当主、クリストフ・フィユーのイニシャルを冠したシリーズ。グランドシャンパーニュの魅力が花開くとされる熟成35年以上の原酒を厳選してブレンド。

ブランデー／コニャック

50 ジャン フィユー クリストフ フィユー CF40

Jean Fillioux Christophe Fillioux CF40

500ml　43%　NOZOMI　フランス

ジャン フィユーの現当主のイニシャルを冠したＣＦシリーズの１本。熟成40年以上の原酒を厳選してブレンドしている。同シリーズの中では新樽比率が高く、樽香を効かせた力強さを感じる。

ブランデー／アルマニャック

51 シャトー ガロー フォルブランシュ 1995

Chateau Garreau Folle Blanche 1995

700ml　44%　NOZOMI　フランス

アルマニャックとしては珍しいフォルブランシュ種を100%使用した樽出しのヴィンテージ。広大な自社畑で持続可能な農業を行い、自社のシャトー（城）にあるセラーで熟成させるこだわりのメゾン。

ラム

52 The 1423 S.B.S ドミニカン リパブリック 2007

The 1423 Single Barrel Selection Dominican Republic 2007

700ml　55%　都光　ドミニカ

シングル バレル セレクションを意味する「S.B.S」は、2008年にデンマークに誕生した新興ボトラーが立ち上げたブランド。エスプレッソのような香味に、ダークチョコレートのような苦みやコクが広がる。

ラム

The 1423 S.B.S パナマ 2006 53

The 1423 Single Barrel Selection Panama 2006

700ml　55%　都光　パナマ

樽出しの力強い個性が味わえるS.B.Sのパナマラム。バニラや蜂蜜のアロマに、ドライアプリコットやブラウンシュガーの甘さ、スパイシーさが加わり、オイリーで厚みのある骨格を持ち合わせる。

ラム

アプルトン エステート 21年 54

Appleton Estate 21 YO

750ml　43%　アサヒビール　ジャマイカ

250年以上の伝統があり、自社で栽培から瓶詰まで行うアプルトン社のフラッグシップ。オーク樽で21年以上熟成させた原酒から、さらに厳選してブレンド。芳醇な香りとスムースな口当たりに重層的なフレーバーが続く。

ラム

バカルディ エイト 55

Bacardi 8

750ml　40%　バカルディ ジャパン　プエルトリコ

創業者ドン・ファクンド・バカルディのレシピを再現。アメリカンオーク樽で８年以上熟成した原酒のみを使用。香り、味、深みのバランスを追求したリッチな味わいながら、カクテルのベースに使いやすいスムースさを両立。

ラム

マツサレム グランレゼルバ 23 56

Matusalem Gran Reserva 23

700ml　40%　リードオフジャパン　ドミニカ

樽を積み上げたソレラシステムで熟成させた、滑らかで調和のとれた重厚さ。マツサレムはキューバで創業し、革命で国を追われ、ドミニカで復活した。業界では珍しい女性マスターブレンダーが創業時からのレシピを守る。

ラム

ロン アブエロ フィニッシュ コレクション XV ナポレオン 57

Ron Abuelo Finish Collection XV Napoleon

700ml　40%　リードオフジャパン　パナマ

パナマ最大規模の蒸留所がサトウキビ栽培から一貫生産。アメリカンホワイトオーク樽で熟成後、ナポレオンコニャック樽で仕上げた。ドライフルーツと熟成したウッディーさを感じる味わいで、バランスがよく繊細。

ラム

ロン アブエロ フィニッシュ コレクション XV タウニー 58

Ron Abuelo Finish Collection XV Tawny

700ml　40%　リードオフジャパン　パナマ

フィニッシュ コレクションシリーズは今回、最高金賞と金賞２本の計３本受賞。こちらは、タウニーポート樽で仕上げた１本。力強いワイルドベリーとウッディーな香り、口当たりは柔らかく甘みがある。

CATEGORY WINNER
Rum
Dark Traditional
- 16 Years & Over -
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION
2020

53



54



55



56



57



58



59



60



61



62



ラム

ロン ミロナリオ 10 アニバーサリオ チンクエンタ 59

Ron Millonario 10 Aniversario Cincuenta

700ml　50%　ePower　ペルー

厳選したサトウキビのモラセスを発酵させ、熟成樽を積み上げたソレラシステムで品質の安定化を図るロンロミナリオ。チンクエンタはスペイン語で「50」。アルコール度数40%の定番品に比べ、よりリッチで力強い味わい。

ラム

ラムネイション デメララ ソレラ No.14 60

Rum Nation Demerara Solera No.14

700ml　40%　ePower　ガイアナ

南米ガイアナのデメララ川沿いで生産されたデメラララム。単一生産地ラムの豊富な品揃えを誇るボトラーズ、ラムネイションがボトリングした。ダークで香り高く、重厚なデメラララムらしい個性が際立つ。

ラム

ラムネイション グァテマラ XO 20thアニバーサリーエディション 61

Rum Nation Guatemala XO 20th Anniversary Edition

700ml　40%　ePower　グアテマラ

オロロソとペドロヒメネスのシェリー樽で16ヵ月熟成し、複雑で甘く滑らか。ラムネイションはスコッチの輸入・販売の歴史が長いイタリアのロッシ家が1999年に始めたボトラー。原産地と欧州で２段階熟成するのが特徴。

テキーラ

アラクラン クリスタルアネホ 62

Alacran Crystal Anejo

750ml　35%　De Agave　メキシコ

アメリカンオーク樽で熟成14ヵ月ながら無色透明。連続式蒸留機の使用や通常より多い濾過回数など、革新的な製法でクリアなテイストを実現するアラクランならではの甘く繊細な味わい。そのモダンさで米東海岸で人気。



テキーラ

チャムコス エクストラアネホ 63

Chamucos Extra Anejo

750ml　44.4%　De Agave　メキシコ

100%オーガニックのアガベを使用し、熟成３～５年の原酒を厳選してブレンド。バランスの取れた味わいにフルーツとスパイスの香りが加わり、洗練されたテイストをつくる。ラベルは100年ほど前のメキシコの版画。

テキーラ

グランオレンダイン アネホ 64

Gran Orendain Anejo

750ml　40%　リードオフジャパン　メキシコ

テキーラ地区でもとりわけ良質な「テペコステの丘」の自社畑から採れたアガベを100%使用。バーボン樽で30ヵ月間熟成した、テキーラでは長期熟成タイプ。豊かなボディの中に、チョコレートやコーヒーの香りが広がる。

テキーラ

グランオレンダイン エクストラアネホ 65

Gran Orendain Extra Anejo

750ml　40%　リードオフジャパン　メキシコ

クエルボ家、サウザ家と並ぶ名門とされるオレンダイン家の蒸留所。そのハイエンドシリーズを代表するテキーラ。ホワイトオーク樽で40ヵ月熟成。豊かな香りの中に、アガベ本来の香りも強く残る。

テキーラ

パトロン アネホ 66

Patron Anejo

750ml　40%　バカルディ ジャパン　メキシコ

バーボン樽と、フレンチオークの新樽、ハンガリアンオークの新樽を使って熟成。熟成12～14ヵ月の原酒を使用しブレンドされたアネホは、樽香にわずかなシトラス香が加わり、複雑で洗練された味わい。

テキーラ／その他アガベスピリッツ

ラ・メディダ トバラ 67

La Medida Tobala

750ml　44%　フィデア　メキシコ

希少な品種で「アガベの王様」と呼ばれるトバラを使用した香り高いメスカル。海抜1900mで収穫され、農家の手によって約450年前からの伝統的手法で加工される。蒸留は銅製の単式蒸留器で２回。

63



64



67



65



66







テキーラ／その他アガベスピリッツ

メスカル アラクラン ホベン 68

Mezcal Alacran Joven

750ml　46%　De Agave　メキシコ

革新的テキーラ蒸留所アラクランのメスカル。見た目こそスタイリッシュだが、石臼で搾汁し、繊維と一緒に自然発酵させたものを、直火式の単式蒸留器で２回蒸留するメキシコ・オアハカ州の古典的製法で造られている。

ジャパニーズジン

赤屋根 クラフトジン美風 BIFU 69

Akayane Craft Gin Bifu

750ml　46%　佐多宗二商店　日本

鹿児島の老舗焼酎メーカーが、ホルスタイン社製の蒸留器などを使いジャパニーズクラフトジンの新たな地平を開くシリーズ。ベーススピリッツは自家製芋焼酎。山椒やレモングラスなど４種のボタニカルを使用している。

ジャパニーズジン

HINATA 70

Hinata

750ml　47%　京屋酒造　日本

宮崎県日南の京屋酒造のクラフトジン２作目。金柑、ヘベス、日向夏という地元産の柑橘をメインボタニカルに、ハーブやスパイス、地元産のピーマンや生姜で膨らみを与えている。１作目の「油津吟」とダブル金賞受賞。

ジャパニーズジン

jin jin GIN（ジンジンジン） 71

Jin Jin Gin

700ml　47%　高田酒造場　日本

熊本の高田酒造場のクラフトジン。球磨焼酎（米焼酎）「あさぎりの花」をベースに、ボタニカルには県産の晩白柚（ばんぺいゆ）や不知火柑、甘夏、晩柑、はるか、柚子の皮、天草のローズゼラニウムなどを使用。

ジャパニーズジン

桜尾ジン ハマゴウ 2019 72

Sakurao Gin Hamagou 2019

700ml　47%　中国醸造　日本

広島・宮島の夏の浜辺に鮮やかな紫色の花を咲かせるハマゴウ。平安時代には香として用いられた芳香が特徴的。ハマゴウなど12種のボタニカルを使い、清涼感あふれる香りが広がる。限定第２弾の2019エディション。

ジャパニーズジン

桜尾ジン オリジナル 73

Sakurao Gin Original

700ml　47%　中国醸造　日本

沖縄のサトウキビから造られたベーススピリッツに、ジュニパーベリーやコリアンシードのほか、レモン、柚子、ヒノキなど９種類の広島県産ボタニカルを加え、計14種のボタニカルを使用している。

ジャパニーズジン

74 油津吟 YUZUGIN

Yuzugin

750ml　47%　京屋酒造　日本

京屋酒造は宮崎の老舗酒造。180余年の焼酎造りを生かして生み出した。本格芋焼酎をベースに、柚子や山椒、生姜、胡瓜など９種のボタニカルを用い、日本独自の並行複発酵と低温蒸留で仕上げた。

イングリッシュジン

75 88 オーガニック モレキュラージン

88 Organic Molecular Gin

500ml　43%　Linden Leaf Botanicals Ltd　イングランド

３人の科学者・技術者が設立したクラフトジンメーカー。伝統的な蒸留技術と最先端の技術を組み合わせて低温抽出している。主要なボタニカルは柚子など28種。抽出された88種の異なる香り分子を使用しているという。

イングリッシュジン

76 シップスミス VJOP

Sipsmith VJOP

700ml　57.7%　サントリースピリッツ　イングランド

シップスミスはロンドンジンの伝統的な製法とレシピにこだわり、2008年に免許を取得した蒸留所。VJOPは定番の「ロンドンドライジン」に比べてジュニパーベリーを約３倍に増やし、高めのアルコール度数で香りを立たせる。

その他スピリッツ

77 アルケミエ アブサン 犬啼

Alchemiae Absinthe Innaki

500ml　58%　アルケミエ　日本

アルケミエ辰巳蒸留所は、岐阜・郡上八幡の犬啼川の畔に2017年に創業。ブルガリア産の酒造用ニガヨモギなど８種類の乾燥ハーブを使用したアブサンだ。2019年１月に蒸留。ミルキーで優しく、すっきりとした味わい。

その他スピリッツ

78 信州アブサン 2019 樽熟成

Shinshu Absinthe Barrel Aging 2019

500ml　55%　VinVie　日本

長野県産のメルローとカベルネソーヴィニョンから造られたホワイトブランデーに、自家栽培のニガヨモギとスターアニスを１ヵ月浸漬させて蒸留。フレンチオークの白ワイン樽で１年熟成させた。琥珀色で優しい味わい。

その他スピリッツ

79 辰巳蒸留所 ファーストエッセンス グリーンアブサン

Tatsumi Distillery First Essence Green Absinthe

500ml　58%　アルケミエ　日本

地元の岐阜県郡上市産ニガヨモギを100%使用。ニガヨモギは標高500mの農園で栽培していたが、台風の襲来で一部は乾燥させてから使用することに。手間暇かけたボタニカルは、ほろ苦く複雑な余韻となって現れる。

74

CATEGORY WINNER English Gin TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020



75



76



CATEGORY WINNER Other Spirits TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020

77



78



79



CRAFTED *with* CONVICTION

WILD TURKEY

KENTUCKY STRAIGHT RYE WHISKEY

MASTER'S KEEP

CORNERSTONE

ワイルドターキー・マスターズキープ・コーナーストーン

150年以上にわたって培われてきた
ウイスキー造りの技と伝統*が結実した、ワイルドターキー史上、
最も熟成期間の長く重厚感のある最高峰のライウイスキー。



TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION
金賞受賞



限定発売

*ワイルドターキーは、150年以上にわたるウイスキー造りの歴史の中で禁酒法時代などの困難を乗り越えて、培われた技と伝統を誇りとして受け継いでいます。

STOP! 20歳未満飲酒

ストップ！飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。

株式会社 明治屋

154

銀賞

Tokyo Whisky & Spirits Competition 2020

Silver Winner

最高金、金、銀、銅賞でもっとも多かったのが銀賞受賞である。427本中、154本が見事、銀賞に輝いた。その受賞比率は36%である。これは昨年の130本と比べても多い数字で、それだけ実力の伯仲するアイテムが揃っていたということになる。

銀賞154本の内訳を見てみるとウイスキーが85本で、スピリッツが69本。ウイスキー全体の中で銀賞が占める割合は約37%で、スピリッツが35%。割合的には、ほぼ拮抗している。さらに仔細に見ていくと、スコッチが46本、ジャパニーズが14本、アイリッシュが１本、アメリカンが10本、ワールドが14本となっている。その中で、もっとも銀賞受賞の比率が高かったのがスコッチで、次いでワールド、アメリカンの順になっている。

スピリッツ69本の内訳はブランデーが６本、ラムが８本、テキーラが14本、ジンが29本、ウォッカ、その他が12本となっている。やはりジンの本数がもっとも多く、銀賞受賞も38.7%とウイスキーより多い。ジンの出品アイテムの多くが、この銀賞カテゴリーに入ったことになる。

アイリッシュは今回出品数が６本しかなく、その中で最高得点のものが銀賞に選ばれた。今、世界の５大ウイスキーの中で、もっとも販売量が伸びているのがアイリッシュで、ここ10年以上、毎年対前年比２桁増を続けてきただけに、もう少しアイリッシュの出品があればと、願っている。

（文責／土屋 守）





スコッチウイスキー／シングルモルト

1770 グラスゴー 2019 リリース

1770 Glasgow 2019 Release

500ml　46%
BECK PROJECT
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

アバフェルディ 12年

Aberfeldy 12 YO

700ml　40%
John Dewar & Sons Limited
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

アードベッグ コリーヴレッカン

Ardbeg Corryvreckan

700ml　57.1%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

オルトモア 12年

Aultmore 12 YO

700ml　46%
John Dewar & Sons Limited
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ベンリアック 10年 キュオリアシタス

Benriach 10 YO Curiositas

700ml　46%
ブラウン・フォーマン ビバレッジス ジャパン L.L.C.
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ブルックラディ ザ・クラシック・ラディ

Bruichladdich
The Classic Laddie

700ml　50%
レミー コアントロー ジャパン
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

カーデュ 12年

Cardhu 12 YO

700ml　40%
日本酒類販売
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

クライゲラキ 13年

Craigellachie 13 YO

700ml　46%
John Dewar & Sons Limited
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンファークラス 12年 カスクストレングス バッチ2

Glenfarclas 12 YO
Cask Strength Batch 2

700ml　58.3%
ミリオン商事
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンフィディック 12年 スペシャルリザーブ

Glenfiddich 12 YO
Special Reserve

700ml　40%
サントリースピリッツ
スコットランド

※■のついているものは特別賞も受賞しているもの。リストはP58。
※ボトルのスペックは、容量　アルコール度数　出品企業　生産国名の順に掲載。
※カテゴリーごとにアルファベット順で掲載。



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンフィディック 15年 ソレラリザーブ

Glenfiddich
15 YO Solera Reserve

700ml　40%
サントリースピリッツ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレングラント 10年

Glen Grant 10 YO

700ml　40%
アサヒビール
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレングラント 12年

Glen Grant 12 YO

700ml　43%
アサヒビール
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンモーレンジィ アルタ

Glenmorangie Allta

700ml　51.2%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンモーレンジィ ラサンタ 12年 シェリーカスク フィニッシュ

Glenmorangie Lasanta 12 YO
Sherry Cask Finish

700ml　43%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンモーレンジィ キンタ・ルバン 14年 ポートカスク フィニッシュ

Glenmorangie Quinta Ruban
14 YO Port Cask Finish

700ml　46%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

グレンモーレンジィ オリジナル 10年

Glenmorangie
The Original 10 YO

700ml　40%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

インチマリン 2004 Y'sカスク レモンハートラベル

Inchmurrin 2004 Y's Cask
Lemonheart Label

700ml　55.1%
都光
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ジェームズ・イーディー ベンリネス 13年 シェリーカスクフィニッシュ

James Eadie Benrinnes 13 YO
Sherry Cask Finish

700ml　56.4%
横浜君嶋屋
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ジェームズ・イーディー カリラ 9年

James Eadie Caol Ila 9 YO

700ml　46%
横浜君嶋屋
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

キングスバーンズ ドリーム トゥ ドラム

Kingsbarns Dream to Dram

700ml　46%
カクテルワークス
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

モートラック 12年

Mortlach 12 YO

700ml　43.4%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

モートラック 16年

Mortlach 16 YO

700ml　43.4%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

オクトモア 10.1 スコティッシュ・バーレイ

Octomore 10.1 Scottish Barley

700ml　59.8%
レミー コアントロー ジャパン
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ポートシャーロット 10年

Port Charlotte 10 YO

700ml　50%
レミー コアントロー ジャパン
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ポートシャーロット アイラバーレイ 2011

Port Charlotte
Islay Barley 2011

700ml　50%
レミー コアントロー ジャパン
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ロイヤルブラックラ 12年

Royal Brackla 12 YO

700ml　40%
John Dewar & Sons Limited
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ロイヤルロッホナガー 12年

Royal Lochnagar 12 YO

700ml　40%
キリン・ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ザ・シングルトン ダフタウン 12年

The Singleton Dufftown 12 YO

700ml　40%
キリン・ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

トマーティン 14年 ポートカスク

Tomatin 14 YO Port Cask

700ml　46%
国分グループ本社
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルモルト

ウルフバーン スコッチモルト販売 40周年記念ボトル

Wolfburn Scotch Malt Sales 40th Anniversary

700ml　50%
スコッチモルト販売
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッドモルト

ジョニーウォーカー グリーンラベル 15年

Johnnie Walker Green Label 15 YO

700ml　43%
キリン・ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／シングルグレーン

ロッホローモンド シングルグレーン

Loch Lomond Single Grain

700ml　46%
都光
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

バランタイン 17年

Ballantine's 17 YO

700ml　40%
サントリースピリッツ
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

バランタイン 17年 トリビュートリリース

Ballantine's 17 YO Tribute Release

700ml　48%
サントリースピリッツ
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

デュワーズ 15年

Dewar's 15 YO

750ml　40%
John Dewar & Sons Limited
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

デュワーズ 18年

Dewar's 18 YO

750ml　40%
John Dewar & Sons Limited
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

デュワーズ 25年

Dewar's 25 YO

750ml　40%
John Dewar & Sons Limited
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

ディンプル 12年

Dimple 12 YO

700ml　40%
日本酒類販売
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

アイラ・ミスト オリジナル ピーテッド

Islay Mist Original Peated

700ml　40%
ユニオンリカーズ
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

ジョニーウォーカー ブラックラベル 12年

Johnnie Walker
Black Label 12 YO

700ml　40%
キリン・ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

ジョニーウォーカー ダブルブラック

Johnnie Walker Double Black

700ml　40%
キリン・ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

ジョニーウォーカー ゴールドラベル リザーブ

Johnnie Walker
Gold Label Reserve

700ml　40%
キリン・ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

オールドパー 18年

Old Parr 18 YO

750ml　40%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

ホワイトホース ファインオールド

White Horse Fine Old

700ml　40%
キリン・ディアジオ
スコットランド



スコッチウイスキー／ブレンデッド

ホワイトホース 12年

White Horse 12 YO

700ml　40%
キリン・ディアジオ
スコットランド



ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

白州

Hakushu

700ml　43%
サントリースピリッツ
日本



ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

駒ヶ岳 リミテッドエディション 2019

Komagatake
Limited Edition 2019

700ml　48%
本坊酒造
日本



ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

マルスモルト ル・パピヨン ダブルカスク ヤクシマルリシジミ

Mars Malt Le Papillon
Yakushima-Ruri-Shijimi

700ml　54%
本坊酒造
日本



ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

シングルモルト 江井ヶ嶋 シェリーカスク

Single Malt Eigashima
Sherry Cask

500ml　50%
江井ヶ嶋酒造
日本



ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

山崎

Yamazaki

700ml　43%
サントリースピリッツ
日本



ジャパニーズウイスキー／シングルグレーン

知多

Chita

700ml　43%
サントリースピリッツ
日本



ジャパニーズウイスキー／ブレンデッド

響
ブレンダーズチョイス

Hibiki Blender's Choice

700ml　43%
サントリースピリッツ
日本



ジャパニーズウイスキー／ブレンデッド

響
ジャパニーズハーモニー

Hibiki Japanese Harmony

700ml　43%
サントリースピリッツ
日本



ジャパニーズニューメイクウイスキー

安積 ニューボーン
シングルカスク
No.17189

Asaka New Born
Single Cask No.17189

700ml　62.6%
笹の川酒造
日本



ジャパニーズニューメイクウイスキー

嘉之助 ニューボーン
嘉之助蒸溜所限定 #2
ワインカスクフィニッシュ

Kanosuke New Born Limited Bottle by Kanosuke Distillery #2 Wine Cask Finish

200ml　48%
小正醸造
日本



ジャパニーズニューメイクウイスキー

三郎丸 ニューボーン
2018 7ヶ月
富山ミズナラヘッド

Saburomaru New Born 2018 7 Months Toyama Mizunara Head

200ml　60%
若鶴酒造
日本



ジャパニーズニューメイクウイスキー

三郎丸 ニューボーン
2019 5ヶ月 アメリカン
ホワイトオーク新樽

Saburomaru New Born 2019 5 Months New American White Oak Cask

200ml　60%
若鶴酒造
日本



ジャパニーズニューメイクウイスキー

三郎丸
ニューポット 2019

Saburomaru New Pot 2019

200ml　60%
若鶴酒造
日本



ジャパニーズニューメイクウイスキー

桜尾 シングルカスク
No.5080

Sakurao Single Cask No.5080

700ml　52%
中国醸造
日本



アイリッシュウイスキー／ブレンデッド

ライターズティアーズ

Writers' Tears

700ml　40%
リードオフジャパン
アイルランド



アメリカンウイスキー／バーボン

バッファロートレース

Buffalo Trace

750ml　45%
国分グループ本社
米国



アメリカンウイスキー／バーボン

エライジャ・クレイグ スモールバッチ

Elijah Craig Small Batch

750ml　47%
バカルディ ジャパン
米国



アメリカンウイスキー／バーボン

エヴァン・ウィリアムス 12年

Evan Williams 12 YO

750ml　50.5%
バカルディ ジャパン
米国



アメリカンウイスキー／バーボン

ワイルドターキー 8年

Wild Turkey 8 YO

700ml　50.5%
明治屋
米国



アメリカンウイスキー／バーボン

ワイルドターキー 13年

Wild Turkey 13 YO

700ml　45.5%
明治屋
米国



アメリカンウイスキー／バーボン

ワイルドターキー ケンタッキースピリット

Wild Turkey Kentucky Spirit

750ml　50.5%
明治屋
米国



アメリカンウイスキー／バーボン

ワイルドターキー マスターズキープ・リバイバル

Wild Turkey
Master's Keep Revival

750ml　50.5%
明治屋
米国



アメリカンウイスキー／バーボン

ウッドフォードリザーブ ダブルオークド

Woodford Reserve
Double Oaked

750ml　43.2%
ブラウン・フォーマンビバレッジス ジャパン L.L.C.
米国



アメリカンウイスキー／テネシー

アンクルニアレスト 1856

Uncle Nearest 1856

750ml　50%
ビッグピクチャーインターナショナル
米国



アメリカンウイスキー／ライ

サゼラック ライ

Sazerac Rye

750ml　45%
国分グループ本社
米国



ワールドウイスキー／シングルモルト

アルモリック 2012 Y's カスク ソーテルヌ カスクフィニッシュ

Armorik 2012 Y's Cask Sauternes Cask Finish

700ml　60.6%
都光
フランス



ワールドウイスキー／シングルモルト

ハイコースト ベルグ

High Coast Berg

700ml　50%
都光
スウェーデン



ワールドウイスキー／シングルモルト

ハイコースト ティンマー

High Coast Timmer

700ml　48%
都光
スウェーデン



ワールドウイスキー／シングルモルト

カバラン クラシック

Kavalan Classic

700ml　40%
Kavalan Distillery
台湾



ワールドウイスキー／シングルモルト

カバラン ディスティラリーセレクト

Kavalan Distillery Select

700ml　40%
Kavalan Distillery
台湾



ワールドウイスキー／シングルモルト

カバラン バーボンオーク

Kavalan Ex-Bourbon Oak

700ml　46%
Kavalan Distillery
台湾



ワールドウイスキー／シングルモルト

カバラン ポーディアム

Kavalan Podium

700ml　46%
Kavalan Distillery
台湾



ワールドウイスキー／シングルモルト

オマー カスクストレングス バーボンカスク No.11100224

Omar Cask Strength Bourbon Cask No.11100224

700ml　57.3%
Taiwan Tobacco & Liquor Corporation
台湾



ワールドウイスキー／シングルモルト

オマー カスクストレングス プラムリキュールバレル フィニッシュ

Omar Cask Strength Plum Liqueur Barrel Finish

700ml　54%
Taiwan Tobacco & Liquor Corporation
台湾



ワールドウイスキー／シングルモルト

オマー カスクストレングス シェリーカスク No.21130076

Omar Cask Strength Sherry Cask No.21130076

700ml　57.7%
Taiwan Tobacco & Liquor Corporation
台湾



ワールドウイスキー／シングルモルト

オマー シェリータイプ

Omar Sherry Type

700ml　46%
Taiwan Tobacco & Liquor Corporation
台湾



ワールドウイスキー／ブレンデッドモルト

ピュアモルト 山桜 20年 ミズナラウッドフィニッシュ

Pure Malt Yamazakura 20 YO Mizunara Wood Finish

700ml　47%
笹の川酒造
日本



ワールドウイスキー／ブレンデッド

ザ・ニュージーランド・ウイスキーコレクション ダニーデン ダブルウッド

The New Zealand Whisky Collection Dunedin Doublewood

500ml　40%
都光
ニュージーランド



ワールドウイスキー／ブレンデッド

ザ・ニュージーランド・ウイスキーコレクション ジ・オアマルビアン

The New Zealand Whisky Collection The Oamaruvian

500ml　55.9%
都光
ニュージーランド





ブランデー／コニャック

ヘネシー X.O

Hennessy X.O

700ml　40%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
フランス



ブランデー／アルマニャック

アルマニャック ドロー 1990

Armagnac Delord 1990

500ml　40%
横浜君嶋屋
フランス



ブランデー／アルマニャック

ダルティガロング 1992

Dartigalongue 1992

700ml　40%
NOZOMI
フランス



ブランデー／アルマニャック

ドメーヌ ド プトー フォルブランシュ 1998

Domaine de Pouteou
Folle Blanche 1998

700ml　46%
NOZOMI
フランス



ブランデー／カルヴァドス

ルコント 5年

Lecompte Age 5 Ans

700ml　40%
横浜君嶋屋
フランス



ブランデー／その他

ピスコ ポルトン アチョラード

Pisco Porton Acholado

750ml　43%
日本ピスコ協会
ペルー



ラム

アプルトン エステート レアブレンド 12年

Appleton Estate
Rare Blend 12 YO

750ml　43%
アサヒビール
ジャマイカ



ラム

アプルトン エステート シグニチャーブレンド

Appleton Estate
Signature Blend

750ml　40%
アサヒビール
ジャマイカ



ラム

ケーンアイランド ジャマイカ シングル アイランドブレンド

Cane Island Jamica
Single Island Blend

700ml　40%
都光
ジャマイカ



ラム

マウントゲイ XO

Mount Gay XO

700ml　43%
レミー コアントロー ジャパン
バルバドス



ラム

プランテーション ラム バルバドス XO 20周年アニバーサリー

Plantation Rum Barbados XO
20th Anniversary

700ml　40%
スリーアローズ
バルバドス



ラム

ロン コンパネロ グランレゼルバ

Ron Companero Gran Reserva

700ml　40%
都光
ジャマイカ、トリニダードトバゴ



ラム

ロン コンパネロ パナマ エクストラアネホ

Ron Companero Panama
Extra Anejo

700ml　54%
都光
パナマ



ラム

ティーダ 21年

Teeda 21 YO

700ml　48%
ヘリオス酒造
日本



テキーラ

アラクラン ブランコ

Alacran Blanco

750ml　40%
De Agave
メキシコ



テキーラ

アラクラン レポサド

Alacran Reposado

750ml　35%
De Agave
メキシコ



テキーラ

アラクラン
エクストラアネホ

Alacran Extra Anejo

750ml　40%
De Agave
メキシコ



テキーラ

カスカウィン タオナ

Cascahuin Tahona

750ml　42%
フィデア
メキシコ



テキーラ

チャムコス ディアブロ
ブランコ

Chamucos Diablo Blanco

750ml　55%
De Agave
メキシコ



テキーラ

コラレホ アネホ

Corralejo Anejo

750ml　40%
De Agave
メキシコ



テキーラ

ドン・フリオ 1942

Don Julio 1942

750ml　38%
キリン・ディアジオ
メキシコ



テキーラ

ドン・フリオ ブランコ

Don Julio Blanco

750ml　38%
キリン・ディアジオ
メキシコ



テキーラ

ドン・フリオ レポサド

Don Julio Reposado

750ml　38%
キリン・ディアジオ
メキシコ



テキーラ

パトロン シルバー

Patron Silver

750ml　40%
バカルディ ジャパン
メキシコ



テキーラ

ボルカン ブランコ

Volcan de mi Tierra Blanco

750ml　40%
MHD モエ ヘネシー ディアジオ
メキシコ



テキーラ／その他アガベスピリッツ

メスカル アラクラン サカテリモン

Mezcal Alacran Zacate Limon

750ml　40%
De Agave
メキシコ



テキーラ／その他アガベスピリッツ

ピエルデ アルマス エスパディン

Pierde Almas Espadin

750ml　50%
De Agave
メキシコ



テキーラ／その他アガベスピリッツ

ピエルデ アルマス トバシーチェ

Pierde Almas Tobaziche

750ml　47%
De Agave
メキシコ



ジャパニーズジン

9148 #0210

9148 #0210

700ml　60%
北海道自由ウヰスキー
日本



ジャパニーズジン

9148 #1922

9148 #1922

700ml　42%
北海道自由ウヰスキー
日本



ジャパニーズジン

赤屋根 クラフトジン 仁ノ心 春

Akayane Gin Heart Haru

720ml　46%
佐多宗二商店
日本



ジャパニーズジン

因伯人（インパクト）

Impact

720ml　47%
千代むすび酒造
日本



ジャパニーズジン

石川酒造場 ジンジャー クラフトジン

Ishikawa Shuzojo
Ginger Craft Gin

500ml 45%
石川酒造場
日本



ジャパニーズジン

石川酒造場 ネイビーストレングス クラフトジン 2019

Ishikawa Shuzojo
Navy Strength Craft Gin 2019

500ml 57%
石川酒造場
日本



ジャパニーズジン

JIN7 シリーズ 00

Jin7 Series 00

700ml 47%
大山甚七商店
日本



ジャパニーズジン

黄金井

Koganei

200ml 43%
黄金井酒造
日本



ジャパニーズジン

KUMAMOTO jin jin GIN (くまもとジンジンジン)

Kumamoto Jin Jin Gin

700ml 47%
高田酒造場
日本



ジャパニーズジン

ナンバーエイトジン

Number Eight Gin

750ml 46%
HUGE
日本



ジャパニーズジン

パフュームジン 知覧紅茶 バーテンダーズ エディション

Perfume Gin Chirankoucha
Bartender's Edition

500ml 47%
田村商店
日本



ジャパニーズジン

ROKU(六)

Roku

700ml 47%
サントリースピリッツ
日本



ジャパニーズジン

桜尾ジン バレルエイジド No.6006

Sakurao Gin
Barrel Aged Cask No.6006

700ml 47%
中国醸造
日本



ジャパニーズジン

桜尾ジン リミテッド

Sakurao Gin Limited

700ml 47%
中国醸造
日本



ジャパニーズジン

和美人

Wa Bi Gin

700ml　45%
本坊酒造
日本



ジャパニーズジン

和美人 コニャックカスク フィニッシュ

Wa Bi Gin Cognac Cask Finish

495ml　60%
本坊酒造
日本



ジャパニーズジン

よきつき 令月

Yokitsuki

720ml　40%
梅ヶ枝酒造
日本



イングリッシュジン

8 オーガニック モレキュラージン

8 Organic Molecular Gin

700ml　43%
Linden Leaf Botanicals Ltd
イングランド



アメリカンジン

ブルーマーメイド クラフトジン

Blue Mermaid Craft Gin

150ml　40%
Guam1 Brewing Company
グアム



イングリッシュジン

ボンベイ・サファイア

Bombay Sapphire

750ml　47%
バカルディ ジャパン
イングランド



スコティッシュジン

ザ・ボタニスト

The Botanist

700ml　46%
レミー コアントロー ジャパン
スコットランド



ジン／ヨーロッパ

クローバージン ラッキー4

Clovergin Lucky 4

500ml　44%
アレグレス
ベルギー



スコティッシュジン

ダーンレイズ スパイスドジン

Darnley's Spiced Gin

700ml　42.7%
カクテルワークス
スコットランド



スコティッシュジン

ダーンレイズ スパイスドジン ネイビーストレングス エディション

Darnley's Spiced Gin
Navy Strength Edition

700ml　57.1%
カクテルワークス
スコットランド



ジン／ヨーロッパ

ヘルノ ネイビーストレングスジン

Herno Navy Strength Gin

500ml　57%
都光
スウェーデン



アメリカンジン

コーヴァル バレルドジン

Koval Barreled Gin

500ml　47%
都光
米国



アメリカンジン

レッドマーメイド クラフトジン

Red Mermaid Craft Gin

150ml　40%
Guam1 Brewing Company
グアム



イングリッシュジン

タンカレー ブルームズバリー ロンドンドライジン

Tanqueray Bloomsbury London Dry Gin

1000ml　47.3%
キリン・ディアジオ
イングランド



イングリッシュジン

タンカレー ナンバーテン

Tanqueray No.Ten

750ml　47.3%
キリン・ディアジオ
イングランド



ウォッカ

シロック

Ciroc

700ml　40%
キリン・ディアジオ
フランス



ウォッカ

ケテル ワン

Ketel One

750ml　40%
キリン・ディアジオ
オランダ



ウォッカ

ラプランディア ビルベリー

Laplandia Bilberry

700ml　40%
横浜君嶋屋
フィンランド



ウォッカ

ラプランディア エスプレッソ

Laplandia Espresso

700ml　37.5%
横浜君嶋屋
フィンランド



ウォッカ

ラプランディア ウォッカ

Laplandia Vodka

700ml　40%
横浜君嶋屋
フィンランド



ウォッカ

スウィンギングドアーズ

Swinging Doors

700ml　40%
ヤエガキ酒造
日本



ウォッカ

ウォトカ・ウォッカ

Wodka Vodka

750ml　40%
アイデイ商事
ポーランド



ウォッカ

ズブロッカ バイソングラス

Zubrowka Bison Grass

700ml　37.5%
リードオフジャパン
ポーランド



その他のスピリッツ

火の神 30年貯蔵

Hinokami 30 YO

700ml　38%
薩摩酒造
日本



その他のスピリッツ

ワピリッツ ツムギ

Wapirits Tumugi

750ml　40%
三和酒類
日本



その他のスピリッツ

ワピリッツ ツムギ ブンタン

Wapirits Tumugi Buntan

750ml　43%
三和酒類
日本



その他のスピリッツ

ワピリッツ ツムギ ニューオーク カスクストレージ

Wapirits Tumugi
New Oak Cask Storage

750ml　43%
三和酒類
日本



富山の地から
世界に愛されるウイスキーを



三郎丸蒸留所 ニューボーン2019
アメリカンホワイトオーク新樽



特許取得
第6721917号

世界初　鋳造製ポットスチル「ZEMON」

SILVER WINNER
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020

CATEGORY WINNER
Japanese New Make
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020

WAKATSURU
SABUROMARU
DISTILLERY

三郎丸

北陸でただひとつのウイスキー蒸留所

三郎丸蒸留所

富山県砺波市三郎丸208　www.wakatsuru.co.jp/saburomaru/

Mail:info@wakatsuru.co.jp　Tel:0763-32-3032

お酒は20歳になってから。

83

銅賞

Tokyo Whisky & Spirits Competition 2020

Bronze Winner

今回ジャパニーズウイスキーを、①ジャパニーズウイスキー、②ジャパニーズニューメイクウイスキー、③ジャパンメイドウイスキーの３つに分けたことは、６ページで述べている。そのジャパニーズニューメイクウイスキーは６本が銀賞を受賞し、３本が銅賞を受賞した。さらに銀賞はなかったが、第３のカテゴリーであるジャパンメイドウイスキーが６本、銅賞に選ばれている。要するに日本産のウイスキーと外国産のウイスキーをブレンドしたもので、これにはモラセス原料の醸造用アルコールが入っていないことが条件である。

銅賞全体として見た場合、受賞本数は83本で、うちウイスキーが39本、スピリッツが44本となっている。ウイスキーの中で一番多いのはスコッチの13本だが、次いで多いのが、ジャパニーズの12本で、このうちの９本が、今回新たに定義したジャパニーズニューメイクウイスキーと、ジャパンメイドウイスキーであった。

従来、ジャパニーズニューメイクウイスキーは海外のコンペに出品されたことはなく（カテゴリーがない）、またジャパンメイドウイスキーは、あたかも100％日本産であるかのように扱われ、海外のコンペで多くの賞をとっている。TWSC独自の定義だが、ジャパニーズウイスキーの定義を明確にできたことは良かったと、考えている。

（文責／土屋 守）





スコッチウイスキー／シングルモルト

1

アードベッグ 10年

Ardbeg 10 YO

700ml　46%　MHD モエ ヘネシー ディアジオ　スコットランド

スコッチウイスキー／シングルモルト

2

アードベッグ アン・オー

Ardbeg An Oa

700ml　46.6%　MHD モエ ヘネシー ディアジオ　スコットランド

スコッチウイスキー／シングルモルト

3

アードベッグ ウーガダール

Ardbeg Uigeadail

700ml　54.2%　MHD モエ ヘネシー ディアジオ　スコットランド

スコッチウイスキー／シングルモルト

4

アードモア レガシー

Ardmore Legacy

700ml　40%　サントリースピリッツ　スコットランド

スコッチウイスキー／シングルモルト

5

オーヘントッシャン 12年

Auchentoshan 12 YO

700ml　40%　サントリースピリッツ　スコットランド

スコッチウイスキー／シングルモルト

6

ザ・デヴェロン 12年

The Deveron 12 YO

700ml　40%　John Dewar & Sons Limited　スコットランド

スコッチウイスキー／シングルモルト

7

ウィルソン & モーガン
ブナハーブン 2009

Wilson & Morgan Bunnahabhain 2009

700ml　48%　ePower　スコットランド

スコッチウイスキー／シングルモルト

8

ウルフバーン オーロラ

Wolfburn Aurora

700ml　46%　スコッチモルト販売　スコットランド

スコッチウイスキー／ブレンデッドモルト

9

ウィルソン & モーガン
ウエストポート 15年

Wilson & Morgan Westport 15 YO

700ml　57.8%　ePower　スコットランド

スコッチウイスキー／ブレンデッド

10

バランタイン 12年

Ballantine's 12 YO

700ml　40%　サントリースピリッツ　スコットランド

スコッチウイスキー／ブレンデッド

11

デュワーズ 12年

Dewar's 12 YO

700ml　40%　John Dewar & Sons Limited　スコットランド

スコッチウイスキー／ブレンデッド

12

ジェームズ・イーディー トレードマーク X

James Eadie's Trade Mark X

700ml　45.6%　横浜君嶋屋　スコットランド

※ボトルのスペックは、容量　アルコール度数　出品企業　生産国名の順に掲載。
※カテゴリーごとにアルファベット順で掲載。

スコッチウイスキー／ブレンデッド

13

ジョニーウォーカー トリプルグレーン アメリカンオーク 10年

Johnnie Walker Blenders' Batch Triple Grain American Oak 10 YO

700ml　41.3%　キリン・ディアジオ　スコットランド

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

14

安積 ザ・ファースト

Asaka The First

700ml　50%　笹の川酒造　日本

ジャパニーズウイスキー／シングルモルト

15

岡山 トリプルカスク

Okayama Triple Cask

700ml　43%　宮下酒造　日本

ジャパニーズウイスキー／ブレンデッドモルト

16

イチローズモルト ダブルディスティラリーズ

Ichiro's Malt Double Distilleries

700ml　46%　ベンチャーウイスキー　日本

ジャパニーズニューメイクウイスキー

17

嘉之助 ニューボーン 2019 16ヶ月 バーボンカスク

Kanosuke New Born 2019 16 Months Bourbon Casks

200ml　57%　小正醸造　日本

ジャパニーズニューメイクウイスキー

18

嘉之助 ニューボーン 嘉之助蒸溜所限定 #1

Kanosuke New Born Limited Bottle by Kanosuke Distillery #1

200ml　48%　小正醸造　日本

ジャパニーズニューメイクウイスキー

19

長濱ニューメイク 59° ヘビリーピーテッド

Nagahama New Make 59° Heavily Peated

500ml　59%　長濱蒸溜所　日本

ジャパンメイドウイスキー

20

アマハガン エディションNo.2 レッドワインウッドフィニッシュ

Amahagan Edition No.2 Red Wine Wood Finish

700ml　47%　長濱蒸溜所　日本

ジャパンメイドウイスキー

21

アマハガン エディションNo.3 ミズナラウッドフィニッシュ

Amahagan Edition No.3 Mizunara Wood Finish

700ml　47%　長濱蒸溜所　日本

ジャパンメイドウイスキー

22

ブレンデッド 江井ヶ嶋 シェリーカスクフィニッシュ

Blended Eigashima Sherry Cask Finish

500ml　50%　江井ヶ嶋酒造　日本

ジャパンメイドウイスキー

23

イチローズモルト MWR（ミズナラウッドリザーブ）

Ichiro's Malt Mizunara Wood Reserve

700ml　46%　ベンチャーウイスキー　日本

ジャパンメイドウイスキー

24

イチローズモルト ワインウッドリザーブ

Ichiro's Malt Wine Wood Reserve

700ml　46%　ベンチャーウイスキー　日本





ジャパンメイドウイスキー

25

イチローズモルト & グレーン ワールドブレンデッド リミテッドエディション

Ichiro's Malt & Grain World Blended Limited Edition

700ml　48%　ベンチャーウイスキー　日本

アイリッシュウイスキー／シングルモルト

26

ランベイ シングルモルト

Lambay Single Malt

700ml　40%　都光　アイルランド

アイリッシュウイスキー／ブレンデッド

27

アイリッシュマン ファウンダーズリザーブ

Irishman Founder's Reserve

700ml　40%　リードオフジャパン　アイルランド

アメリカンウイスキー／バーボン

28

I.W.ハーパー 12年

I.W.Harper 12 YO

750ml　43%　キリン・ディアジオ　米国

アメリカンウイスキー／バーボン

29

コーヴァル バーボン

Koval Bourbon

750ml　47%　都光　米国

アメリカンウイスキー／バーボン

30

コーヴァル フォーグレーン

Koval Four Grain

750ml　47%　都光　米国

アメリカンウイスキー／バーボン

31

メーカーズマーク

Maker's Mark

700ml　45%　サントリースピリッツ　米国

アメリカンウイスキー／バーボン

32

メーカーズマーク 46

Maker's Mark 46

750ml　47%　サントリースピリッツ　米国

アメリカンウイスキー／テネシー

33

ジャックダニエル シングルバレル

Jack Daniel's Single Barrel

750ml　47%　ブラウン・フォーマン ビバレッジス ジャパン L.L.C.　米国

アメリカンウイスキー／ライ

34

ワイルドターキー ライ

Wild Turkey Rye

700ml　40.5%　明治屋　米国

カナディアンウイスキー

35

カナディアンクラブ

Canadian Club

700ml　40%　サントリースピリッツ　カナダ

ワールドウイスキー／シングルモルト

36

ベルクルー シングルモルト

Bercloux Single Malt

700ml　47.8%　アレグレス　フランス

ワールドウイスキー／シングルモルト

37 ハイコースト エルヴ
High Coast Alv

700ml　46%　都光　スウェーデン

ワールドウイスキー／シングルモルト

38 オマー バーボンタイプ
Omar Bourbon Type

700ml　46%　Taiwan Tobacco & Liquor Corporation　台湾

ワールドウイスキー／ブレンデッドモルト

39 ピュアモルト 山桜 ラムカスクフィニッシュ
Pure Malt Yamazakura Rum Cask Finish

700ml　46%　笹の川酒造　日本

ブランデー／コニャック

40 レミーマルタン XO
Remy Martin XO

700ml　40%　レミー コアントロー ジャパン　フランス

ブランデー／その他

41 タカマ ピスコ モストベルデ グランデモニオ イタリア
Tacama Pisco Mosto Verde Gran Demonio Italia

500ml　44%　日本ピスコ協会　ペルー

ブランデー／その他

42 タカマ ピスコ アチョラード
Tacama Pisco Acholado

700ml　42%　日本ピスコ協会　ペルー

ラム

43 バカルディ アネホ・クアトロ
Bacardi Anejo Cuatro

750ml　40%　バカルディ ジャパン　プエルトリコ

ラム

44 バカルディ レゼルバ・リミターダ
Bacardi Reserva Limitada

750ml　40%　バカルディ ジャパン　プエルトリコ

ラム

45 ケーンアイランド オーストラリア 4年 シングルエステート
Cane Island Australia 4 YO Single Estate

700ml　43%　都光　オーストラリア

ラム

46 シャロンベイ レモングラス
Chalong Bay Lemongrass

700ml　40%　Premium Thai Brands Co. Ltd　タイ

ラム

47 レイジー・ドードー
Lazy Dodo

700ml　40%　田地商店　モーリシャス

ラム

48 マウントゲイ ブラック・バレル
Mount Gay Black Barrel

700ml　43%　レミー コアントロー ジャパン　バルバドス









ラム

ロン ミロナリオ ソレラ 15 レゼルヴァ エスペシャル 49

Ron Millonario Solera 15 Reserva Especial

700ml 40% ePower ペルー

ラム

ラムザ 50

Rum Za

700ml 43% 東京蒸留酒製造社 日本

テキーラ

アラクラン ピンク ブランコ 51

Alacran Pink Blanco

750ml 35% De Agave メキシコ

テキーラ

コラレホ 99,000 オラス アネホ 52

Corralejo 99,000 Horas Anejo

750ml 40% De Agave メキシコ

テキーラ

ドン・フリオ レアル 53

Don Julio Real

750ml 38% キリン・ディアジオ メキシコ

テキーラ

グラン コラレホ アネホ 54

Gran Corralejo Anejo

1000ml 40% De Agave メキシコ

テキーラ

グランオレンダイン ブランコ 55

Gran Orendain Blanco

750ml 40% リードオフジャパン メキシコ

テキーラ

グランオレンダイン レポサド 56

Gran Orendain Reposado

750ml 40% リードオフジャパン メキシコ

テキーラ

サウザ ブルー 57

Sauza Blue

750ml 40% サントリースピリッツ メキシコ

テキーラ

ボルカン クリスタリーノ 58

Volcan de mi Tierra Cristalino

750ml 40% MHD モエ ヘネシー ディアジオ メキシコ

ジャパニーズジン

9148 #4102 59

9148 #4102

700ml 40% 北海道自由ウヰスキー 日本

ジャパニーズジン

60 道後ジン
Dogo Craft Gin

500ml　40%　水口酒造　日本

ジャパニーズジン

61 香の雫
Kanoshizuku

300ml　37%　養命酒製造　日本

ジャパニーズジン

62 香立 KODACHI
Kodachi

700ml　47%　中野BC　日本

ジャパニーズジン

63 パフュームジン レモングラス バーテンダーズエディション
Perfume Gin Lemongrass Bartender's Edition

500ml　47%　田村商店　日本

ジャパニーズジン

64 桜尾ジン ヒロシマ
Sakurao Gin Hiroshima

700ml　47%　中国醸造　日本

ジャパニーズジン

65 朱光
Shukou

200ml　50%　宮下酒造　日本

ジャパニーズジン

66 和GIN
Wa Gin

700ml　45%　明利酒類　日本

イングリッシュジン

67 ボンベイ・ドライ
Bombay Dry

700ml　40%　バカルディ ジャパン　イングランド

ジン／ヨーロッパ

68 ヘルノ ロンドンドライジン
Herno London Dry Gin

500ml　40.5%　都光　スウェーデン

ジン／ヨーロッパ

69 ヘルノ オールドトムジン
Herno Old Tom Gin

500ml　43%　都光　スウェーデン

ジン／オセアニア

70 ヒドゥン ワールドジン ネイビー
Hidden World Gin Navy

500ml　60%　カクテルワークス　ニュージーランド

スコティッシュジン

71 アイル・オブ・ハリスジン
Isle of Harris Gin

700ml　45%　スコッチモルト販売　スコットランド





アメリカンジン
72
コーヴァル ドライジン
Koval Dry Gin
500ml　47%　都光　米国

イングリッシュジン
73
マーティン・ミラーズ・ジン
Martin Miller's Gin
700ml　40%　ユニオンリカーズ　イングランド

スコティッシュジン
74
マイクロフトジン エンポリウム1
Mycroft Gin Emporium 1
700ml　41%　Mycroft Gin Limited　スコットランド

スコティッシュジン
75
マイクロフトジン エンポリウム3
Mycroft Gin Emporium 3
700ml　41%　Mycroft Gin Limited　スコットランド

イングリッシュジン
76
シップスミス ロンドンドライジン
Sipsmith London Dry Gin
700ml　41.6%　サントリースピリッツ　イングランド

イングリッシュジン
77
スター・オブ・ボンベイ
Star of Bombay
750ml　47.5%　バカルディ ジャパン　イングランド

ウォッカ
78
ベルヴェデール ウォッカ
Belvedere Vodka
700ml　40%　MHD モエ ヘネシー ディアジオ　ポーランド

ウォッカ
79
グレイグース
Grey Goose
700ml　40%　バカルディ ジャパン　フランス

ウォッカ
80
HAKU（白）
Haku
700ml　40%　サントリースピリッツ　日本

ウォッカ
81
ズブロッカ クリア
Zubrowka Biala
700ml　37.5%　リードオフジャパン　ポーランド

その他のスピリッツ
82
赤屋根 クラフトスピリッツ オリエンタル カルダモン
Akayane Craft Spirits Oriental Cardamon
300ml　50%　佐多宗二商店　日本

その他のスピリッツ
83
赤屋根 クラフトスピリッツ 山椒
Akayane Craft Spirits Sansho
720ml　45%　佐多宗二商店　日本

特別賞

Tokyo Whisky & Spirits Competition 2020

Special Award

Category Winner 2020
カテゴリーウィナー

Distillery of the year 2020
ディスティラリー・オブ・ザ・イヤー

昨年は「TWSC2019 オブ・ザ・イヤー」と「カテゴリーウィナー」の２つがあったが、それぞれの区別がつきにくい、分かりづらいという意見があって、今年はカテゴリーウィナー１本に絞った。それぞれのカテゴリーで金賞以上を受賞（例外的に銀賞のものもある）しているもので、最高点のものをカテゴリーウィナーとした。今回は計36本が選ばれている。

ディスティラリー・オブ・ザ・イヤーは昨年も設けた賞で、今年は選考方法を少し変えている。スコッチのベスト・ディスティラリー、ベスト・クラフトディスティラリーについては、招聘予定だったジャッジ約250名だけでなく、一般愛好家にも投票に加わってもらった。ただし、ジャッジと違って0.5点とした。さらにベスト・ジャパニーズ・クラフトディスティラリーは実行委員会の投票とした。その結果は59ページを見ていただきたい。残りのアイリッシュ・クラフトとワールド・ディスティラリーについては、実行委員長の私が、委員長権限で決めさせてもらった。コロナ禍の中で、実行委員会の会合を開けなかったせいもある。

また昨年は「ベスト・コストパフォーマンス賞」を設けていたが、これもコロナ禍で、今回は見送った。ZOOMなどを使ったオンラインでの会合もと考えたが、４月から６月にかけて実行部隊であるウイスキー文化研究所のスタッフが、テレワーク、週３日の休業体制に入ったためである。第３回となる来年こそはと思っている。

（文責／土屋 守）

Category Winner 2020

カテゴリーウィナー2020

昨年同様それぞれのカテゴリーで最高点のもの（銀賞以上）を“カテゴリーウィナー”として表彰することにした。カテゴリーウィナーは全部で36品で、さらにニューメイクウイスキーの中から特別に「ベスト・ニューカマー・オブ・ザ・イヤー2020」も選出した。

受賞部門	商品名	出品企業	生産国
スコッチシングルモルト／ノンエイジステートメント	グレンモーレンジィ ネクター・ドール ソーテルヌカスク フィニッシュ	MHD モエ ヘネシー ディアジオ	スコットランド
スコッチシングルモルト／12年以下	ロッホローモンド 12年	都光	スコットランド
スコッチシングルモルト／13〜20年	グレンフィディック 18年 スモールバッチリザーブ	サントリースピリッツ	スコットランド
スコッチシングルモルト／21〜30年	トマーティン 30年	国分グループ本社	スコットランド
スコッチシングルモルト／プライベートラベル	トマーティン 2010 No.396 BAR P-Coat 限定	国分グループ本社	スコットランド
スコッチブレンデッド／ノンエイジステートメント	ジョニーウォーカー ワインカスクブレンド	キリン・ディアジオ	スコットランド
スコッチブレンデッド／13〜20年	ジョニーウォーカー 18年	キリン・ディアジオ	スコットランド
ジャパニーズシングルモルト／ノンエイジステートメント	イチローズモルト 秩父 オン・ザ・ウェイ 2019	ベンチャーウイスキー	日本
ジャパニーズシングルモルト／12年以下	エッセンス・オブ・サントリーウイスキー 山崎蒸溜所 リフィルシェリーカスク	サントリースピリッツ	日本
ジャパニーズシングルモルト／21〜30年	駒ヶ岳 1991 28年 シングルカスク No.160	本坊酒造	日本
ジャパニーズシングルモルト／プライベートラベル	イチローズモルト 秩父 2012 7年 ウイスキートーク福岡2019オリジナルボトル	クラブバッカス実行委員会	日本
ジャパニーズブレンデッド	イチローズモルト & グレーン ジャパニーズブレンデッド リミテッドエディション 2020	ベンチャーウイスキー	日本
ジャパニーズニューメイク	三郎丸 ニューボーン 2019 5ヶ月 アメリカンホワイトオーク新樽	若鶴酒造	日本
アイリッシュウイスキー	ライターズティアーズ	リードオフジャパン	アイルランド
バーボンウイスキー	ワイルドターキー レアブリード	明治屋	米国
バーボン／プライベートラベル	ケンズチョイス ジャズ インストゥルメンタル サクソフォン	Ken's bar 京橋本店	米国
アメリカンライウイスキー	リッテンハウス ライ ボトルドインボンド	バカルディ ジャパン	米国
アメリカンシングルモルト	ウエストランド アメリカンオーク	レミー コアントロー ジャパン	米国
ワールドシングルモルト／ノンエイジステートメント	カバラン ソリスト オロロソシェリー	Kavalan Distillery	台湾
ワールドシングルモルト／12年以下	オマー カスクストレングス ピーテッドカスク No.11140745	Taiwan Tobacco & Liquor Corporation	台湾
コニャック／30年以上	ジャン フィユー No.1	NOZOMI	フランス
アルマニャック／20〜29年	シャトー ガロー フォルブランシュ 1995	NOZOMI	フランス
ラム／ダーク・エイジド／トラディショナル／3-8年	ラムネイション グァテマラ XO 20thアニバーサリーエディション	ePower	グアテマラ
ラム／ダーク・エイジド／トラディショナル／9-15年	ケーンアイランド ニカラグア 12年 シングルエステート	都光	ニカラグア
ラム／ダーク・エイジド／トラディショナル／16年以上	アプルトン エステート 21年	アサヒビール	ジャマイカ
ラム／ダーク・エイジド／ソレラシステム	ラムネイション デメララ ソレラ No.14	ePower	ガイアナ
テキーラ／100%アガベテキーラ アネホ	ドン・フリオ アネホ	キリン・ディアジオ	メキシコ
テキーラ／100%アガベテキーラ エクストラアネホ	チャムコス エクストラアネホ	De Agave	メキシコ
テキーラ／100%アガベテキーラ クリアアネホ	アラクラン クリスタルアネホ	De Agave	メキシコ
テキーラ／その他アガベスピリッツ	ラ・メディダ トバラ	フィデア	メキシコ
ジャパニーズジン	桜尾ジン オリジナル	中国醸造	日本
イングリッシュジン	88 オーガニック モレキュラージン	Linden Leaf Botanicals Ltd	イングランド
スコティッシュジン	ザ・ボタニスト	レミー コアントロー ジャパン	スコットランド
アメリカンジン	コーヴァル バレルドジン	都光	米国
ウォッカ	ラプランディア ウォッカ	横浜君嶋屋	フィンランド
その他のスピリッツ	辰巳蒸留所 ファーストエッセンス グリーンアプサン	アルケミエ	日本



ベスト・ニューカマー・オブ・ザ・イヤー 2020

ジャパニーズニューメイクウイスキー

三郎丸 ニューボーン 2019 5ヶ月 アメリカンホワイトオーク新樽

Saburomaru New Born 2019 5 Months New American White Oak Cask

200ml　60%　若鶴酒造　日本

Distillery of the year 2020

ベスト・ディスティラリー・オブ・ザ・イヤー2020

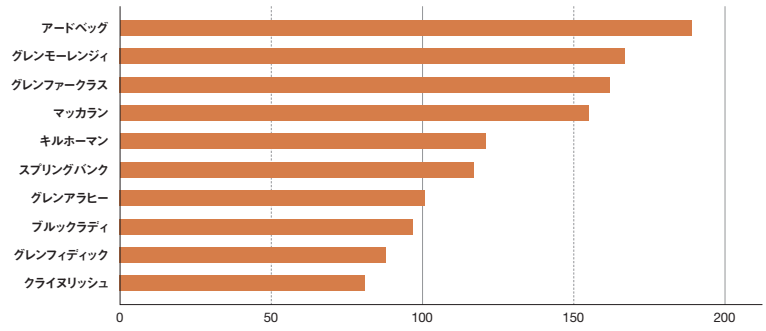
今回の「ディスティラリー・オブ・ザ・イヤー」は昨年同様、５つのカテゴリーを設定した。ベスト・スコッチ・ディスティラリーと同クラフトディスティラリーは事前に実行委員会のほうで、それぞれ30と20の蒸留所をリストアップし、実行委員を含めた全ジャッジ（出席予定だった約250名）と、東京フェス2019（昨年11月開催）に来場した一般愛好家（任意）からアンケートを取った。その結果が下の図と表である。それぞれ上位10蒸留所をリストアップしている。

ベスト・ジャパニーズ・クラフトについてはウイスキー文化研究所のほうで、10の蒸留所をピックアップし、その理由と共に実行委員に送付。１位から５位までを選んでもらい、１位を５点、２位を４点というふうに点数集計を行い、その順位を決定した。やはり５位までを、図と表にしてある。

アイリッシュのクラフト蒸留所とワールド・ディスティラリーについては、昨年まで実行委員会で選んでいたが、今年はコロナウイルスで集まれないこともあり、実行委員長である土屋が“実行委員長賞”として選ぶことにした。昨年のベスト・ワールド・ディスティラリーはインドのポールジョンだったが、今年は圧倒的強さを見せる台湾のカバラン蒸留所が選ばれた。これはクラフトと呼べる規模ではないが、創業わずか14年にして世界のコンペの賞を総ナメにしている観がある。

アイリッシュ・クラフトは2019年に生産開始となったダブリンのダブリンリバティーズ蒸留所が選ばれた。生産設備ももちろんだが、ショップ、カフェ、パブを備えた複合蒸留所で、すでにダブリンの新しい観光名所となっている。

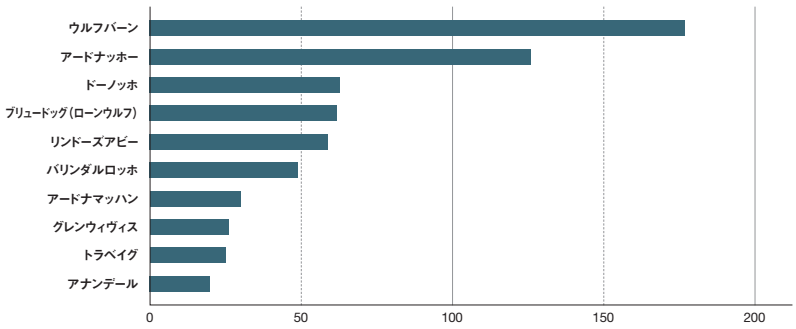
ベスト・スコッチ・ディスティラリー・オブ・ザ・イヤー投票結果



順位	蒸留所名	審査員投票	一般投票	合計点
1	アードベッグ	152	37	189
2	グレンモーレンジィ	145	22	167
3	グレンファークラス	145	17	162
4	マッカラン	141	14	155
5	キルホーマン	109	12	121
6	スプリングバンク	92	25	117
7	グレンアラヒー	94	7	101
8	ブルックラディ	78	19	97
9	グレンフィディック	81	7	88
10	クライヌリッシュ	70	11	81

※一般投票の点数は一人0.5点とした。

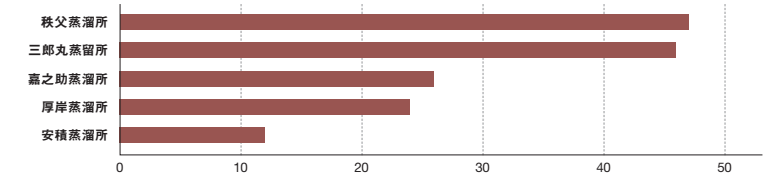
ベスト・スコッチ・クラフトディスティラリー・オブ・ザ・イヤー投票結果



順位	蒸留所名	審査員投票	一般投票	合計点
1	ウルフバーン	153	24	177
2	アードナッホー	123	3	126
3	ドーノッホ	61	2	63
4	ブリュードッグ（ローンウルフ）	58	4	62
5	リンドーズアビー	57	2	59
6	バリンダルロッホ	48	1	49
7	アードナマッハン	29	1	30
8	グレンウィヴィス	24	2	26
9	トラベイグ	23	2	25
10	アナンデール	17	3	20

※一般投票の点数は一人0.5点とした。

ベスト・ジャパニーズ・クラフトディスティラリー・オブ・ザ・イヤー投票結果



順位	蒸留所名	合計点
1	秩父蒸溜所	47
2	三郎丸蒸留所	46
3	嘉之助蒸溜所	26
4	厚岸蒸溜所	24
5	安積蒸溜所	12

Best Scotch Distillery of the year

ベスト・スコッチ・ディスティラリー・オブ・ザ・イヤー

アードベッグ蒸留所

全世界に熱狂的ファンがいる ケルトのウイスキー

今年のベスト・スコッチ・ディスティラリー賞にはアイラ島のアードベッグが選ばれた。審査員の得票でも、一般愛好家の票でも断トツの１位を獲得した。２位も姉妹蒸留所であるグレンモーレンジィが選ばれ、モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン社が所有する２つの蒸留所がワンツーフィニッシュをしている。どちらもユニークな製品を次々と発売し、世界中のウイスキー愛好家を魅了している。アードベッグもグレンモーレンジィも、どちらも統括責任者はビル・ラムズデン博士。ここ20年以上毎年日本を訪れ、消費者やバー、料飲店関係者向けのセミナーやイベントを開いてきたことも、ファンを広げる要因になっているものと思われる。

アードベッグは1815年にアイラ島に創業した蒸留所で、今年スチルを２基から４基に増設し、生産規模を倍増させている。すべては拡大する需要に応えるためで、今後がますます期待される蒸留所だ。









ベスト・スコッチ・クラフトディスティラリー・オブ・ザ・イヤー

ウルフバーン蒸留所

2年連続受賞に輝く本土最北の蒸留所

ベスト・スコッチ・クラフトディスティラリーで２年連続１位となったのが、2012年に北ハイランドのサーソーに創業したウルフバーン蒸留所。２位のアードナッホーに50点近い差をつけ、断トツの１位だった。やはりジャッジの票も、愛好家の票も圧倒的１位である。

ウルフバーンの創業者は地元ケイスネス州生まれのアンドリュー・トンプソン氏。前職は英海軍の兵士で、リタイア後は南アフリカで衛星通信事業を手掛けるなど、異色の経歴の持ち主である。アジア地区での勤務経験もあり、世界的な視野を持ったトンプソン氏が目指したのが、伝統的なスコッチのスタイルだ。マッシュタンから発酵槽、スチルにいたるまですべてフォーサイス社製で、クラフトとしては珍しく王道を往くスタイルを貫いている。

日本マーケットを重視する姿勢はウルフバーンの特徴でもあり、早くから日本の愛好家を虜にしてきた。そんなことも、高く評価されたのだろう。







Best Japanese Craft Distillery of the year

ベスト・ジャパニーズ・クラフトディスティラリー・オブ・ザ・イヤー



秩父蒸溜所

クラフト蒸留所の先駆け的存在として世界が認知

ジャパニーズで選ばれたのは、ベンチャーウイスキーの秩父蒸溜所である。秩父が創業したのは2007年。生産開始は翌08年の２月からだった。当時はウイスキーのどん底時代。1980年代前半をピークに日本のウイスキー消費は減少が続き、2008年は全盛時代の３分の１にまで消費量が落ち込んでいた。そんな大逆風下で船出したのが、肥土伊知郎氏率いる秩父蒸溜所。それからわずか12年（！）。現在の日本のクラフト蒸留所ブームは秩父がなかったら始まらなかったし、海外のクラフト蒸留所で、秩父を参考にしたというところも多い。ここ数年は発売即完売という状態が続き、海外のオークションでは高値で取り引きされている。そんな需要に応えるために昨年オープンさせたのが、秩父の第２蒸溜所。第１の５倍のサイズの仕込みが可能で、新たな挑戦が始まっている。同じ埼玉のマルエス洋樽の技術を引き継ぎ、独自の製樽工場を持っていることも、高く評価されたのだろう。











Best Irish Craft Distillery of the year

ベスト・アイリッシュ・クラフトディスティラリー・オブ・ザ・イヤー

ダブリンリバティーズ蒸留所

ダブリンのリバティーズ地区に誕生した注目の蒸留所

ダブリンリバティーズは2019年２月に正式オープンした新しい蒸留所で、その名の通りダブリン市のリバティーズ地区に所在する。400年前の古い製麦工場の建物を改装したもので、新規蒸留所にもかかわらず、その佇まいは古き良きダブリンの蒸留所を彷彿させる。

マネージャーのダリル氏は元ブッシュミルズ蒸留所の製造責任者で、他のアイリッシュクラフトがポットスチルウイスキーを造るのに対し、ダブリンリバティーズは３回蒸留と２回蒸留のシングルモルトにこだわっている。

仕込みサイズは麦芽２トンで、スチルはドイツのカール社製。生産開始してまだ１年半ほどだが、「ダブリナー」と「ダブリンリバティーズ」という２つの製品をすでにリリースしていて、その売上げは年間４万ケース近くになるという。蒸留所にはカフェや売店、さらに誰でも入れるパブ・レストランも併設していて、地元ダブリンっ子の人気のスポットとなっている。もちろん観光客にも大人気だ。

Best World Distillery of the year

ベスト・ワールド・ディスティラリー・オブ・ザ・イヤー

Kavalan

カバラン蒸留所

わずか14年で世界のトップに!!
“6大ウイスキーと呼ばれたい”





ワールド・ディスティラリー・オブ・ザ・イヤーは文句なく台湾のカバラン蒸留所だろう。２年連続で最高金賞を受賞し、しかも今年は12本中３本がカバランという快挙を成し遂げている。

カバラン蒸留所が台湾の宜蘭（イーラン）県に創業したのは今から14年前の2006年のこと。当初、「高温多湿の亜熱帯の地でウイスキーは造れない」と危惧する声が圧倒的だったが、それを見事に覆してみせた。スタート時はフォーサイス社製のポットスチルが４基しかなかったが、その後10基に増設。さらに４年前には新たな10基を追加して、スチルは計20基となっている。年間の生産能力も900万リットル超と、単独では日本の山崎を抜いてアジア最大の蒸留所となっている。カバラン躍進の理由はいくつもあるが、「STR」と呼ぶ独自の樽内面処理も、大きな要因だろう。ここ１～２年で酒質が驚くほど向上している。「世界５大ウイスキーではなく６大ウイスキーとして、台湾のウイスキーが認知される日が来る」。Y.T.リー社長の、そんな言葉が今現実のものとなりつつある。



WOLFBURN
SINGLE MALT SCOTCH WHISKY

ベスト・スコッチ・クラフトディスティラリー・オブ・ザ・イヤー特別賞
2019 年, 2020 年 2 年連続受賞



スコッチモルト販売株式会社 〒173-0004 東京都板橋区板橋 1-8-4
www.scotch-malt.co.jp TEL : 03-3579-8587 FAX : 03-3961-1194

会員募集中

ウルフバーン会員クラブ
THE BRAVES
WHISKY CLUB JAPAN

会員登録
https://bravesjapan.com/regist/
info@bravesjapan.com

TWSC 2020 Judges

審査員紹介

今回はリモートによる審査を余儀なくされたため、実行委員を中心に37名の審査員チームが編成された。

※敬称略、アルファベット順

海老沢 忍 Ebisawa Shinobu



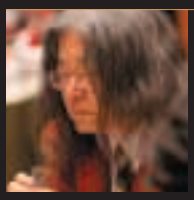
（株）SCREW
代表取締役社長／
日本ラム協会 会長／
SCREW DRIVER
オーナーバーテンダー／
TWSC実行委員

呉 寛之 Gou Hiroyuki



Bourbon Bar ANKI
チーフバーテンダー／
日本バーボンウイスキー
普及協会愛知支部長

原田 邦博 Harada Kunihiro



バー愛好家（自由業）／
ウイスキー文化研究所会員／
TWSC実行委員

原田 陵 Harada Ryo



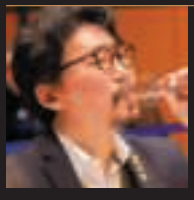
RUMBAR KING RUM
オーナーバーテンダー／
日本ラム協会理事

早川 健 Hayakawa Ken



ウイスキー文化研究所
特別技術顧問／
元キリン・シーグラム富士御殿場
蒸溜所チーフブレンダー／
TWSC実行委員

林 生馬 Hayashi Ikuma



日本テキーラ協会 会長／
日本メスカル協会 顧問／
ブリュッセル国際酒類コンクール
審査員／
TWSC実行委員

樋口 一幸 Higuchi Kazuyuki



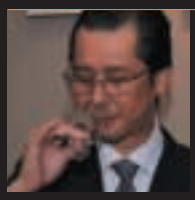
Bar Higuchi
オーナーバーテンダー／
クラブバッカス実行委員長

平田 早苗 Hirata Sanae



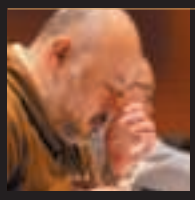
（株）ポットラックインター
ナショナル代表取締役／
スイーツプランナー／
『ウイスキーガロア』テイスター／
TWSC実行委員

平田 洋次郎 Hirata Yojiro



Bar gravity
オーナーバーテンダー

堀上 敦 Horigami Atsushi



国産ウイスキー専門バー
Shot Bar ゾートロープ
オーナーバーテンダー

伊藤 裕香 Ito Yuka



テキーラバー Gatito オーナー／
テキーラバー Elote オーナー／
ウイスキーエキスパート／
メスカレロ／
グラン・マエストロ・
デ・テキーラ／
ラム・コンシェルジュ

小林卓也 Kobayashi Takuya



(株)武蔵屋
スピリッツ営業担当／
ラム・コンシェルジュ／
カシャッサ・コンシェルジュ

鯉沼 康泰 Koinuma Yasuhiro



（有）鯉沼商会 代表取締役／
フランスコニャック協会（BNIC）
公認コニャックエデュケーター

倉島 英昭 Kurashima Hideaki



WHISKY SHOP LIQUORS
HASEGAWA本店店長／
マスター・オブ・ウイスキー／
『ウイスキーガロア』テイスター

松木 崇 Matsuki Takashi



頭頸部外科医／
ウイスキープロフェッショナル／
『ウイスキーガロア』テイスター

松山 謙 Matsuyama Ken



Ken's Bar
オーナーバーテンダー

永野 誠 Nagano Makoto



WBG／
ウイスキーエキスパート／
テキーラ・マエストロ／
ラム・コンシェルジュ

長友 修一 Nagatomo Shuichi



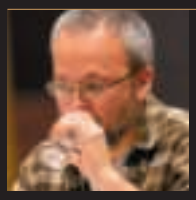
BAR OSCAR
オーナーバーテンダー／
PBO 理事バイスチェアマン
国際局長兼組織局長

中居 靖行 Nakai Yasuyuki



ミニチュアボトルコレクター／
ウイスキーコニサー
資格認定制度・審査員／
TWSC実行委員／
ウイスキー文化研究所
代表世話人

野村浩二 aka マイケル Nomura Michael



Bar Sal's、
三茶アパート オーナー

大平 巌 Oohira Iwawo



BAR i.o
オーナーバーテンダー／
ウイスキーエキスパート／
テキーラ・マエストロ／
ラム・コンシェルジュ

大塚 ジン Otsuka Jin



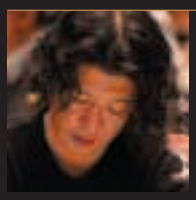
麻布十番エルフジヤマ
バーテンダー／
日本テキーラ協会認定
テキーラ・マエストロ／
日本メスカル協会認定メスカレロ

佐野 秀忠 Sano Hidetada



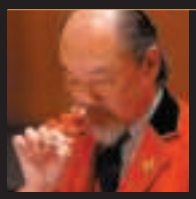
（有）タンクス取締役／
ウイスキーレクチャラー／
ソムリエ／ラム・コンシェルジュ／
テキーラ・マエストロ／
チーズプロフェッショナル

佐藤 裕紀 Sato Hironori



BAR Julep
オーナーバーテンダー／
日本カシャッサ協会会長

渋谷 寛 Shibuya Hiroshi



弁護士・司法書士／
NPO 日本スコットランド協会
監事／
TWSC実行委員／
ウイスキー文化研究所
代表世話人

澁谷 知美 Shibuya Tomomi



Bar Portree バーテンダー／
マスター・オブ・ウイスキー／
『ウイスキーガロア』 テイスター

新橋 清 Shimbashi Kiyoshi



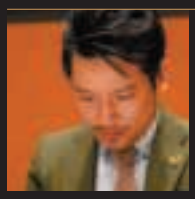
Sanlucar Bar
オーナーバーテンダー／
PBO 理事

白井 慎一 Shirai Shinichi



MILWAUKEE'S CLUB
オーナーバーテンダー／
日本バーボンウイスキー
普及協会埼玉支部長／
アメリカンウイスキー テイスター

静谷 和典 Shizuya Kazunori



BAR LIVET
オーナーバーテンダー／
BAR 新宿ウヰスキーサロン
オーナーバーテンダー／
マスター・オブ・ウイスキー／
『ウイスキーガロア』 テイスター

鈴木 健司 Suzuki Kenji



(有)バッカス代表取締役

鈴木 勝二 Suzuki Shoji



Scotch Bar John O'Groats
オーナーバーテンダー／
マスター・オブ・ウイスキー／
『ウイスキーガロア』 テイスター

高橋 彩子 Takahashi Saiko



（株）SCREW ／
ARIAPITA RUM & PUNCH
店長／
ラム・コンシェルジュ

高野 亮 Takano Ryo



BAR GemStone ／
PBO 運営委員 事務局次長

多東 千恵 Tato Chie



ラムと喫茶Tafia
オーナーバーテンダー／
日本ラム協会理事

友田 晶子 Tomoda Akiko



（一社）日本のSAKEとWINEを
愛する女性の会 代表理事／
フェミナリーズ・世界ワイン
コンクール名誉会長／
TWSC実行委員

土屋 守 Tsuchiya Mamoru



ウイスキー評論家／
ウイスキー文化研究所代表／
雑誌『ウイスキーガロア』
編集長／
TWSC実行委員長

山添 直樹 Yamazoe Naoki



Gin Bar C&D先斗町
オーナーバーテンダー



TWSC2020を終えて

実行委員からの提言

**新型コロナウィルスの影響で実行委員会のミーティングもできなくなってしまった。
本来なら座談会形式で語ってもらうところを、リモート取材で各人の声を聞かせてもらった。
リモート審査をどう見たのか、TWSCの今後はどうあるべきなのか。貴重な提言をいただいた。**

（構成／編集部・掲載はアルファベット順）



日本ラム協会会長

Ebisawa Shinobu

海老沢 忍

1970年生まれ。東京都出身。日本におけるラム酒のパイオニアとして知られ、97年に東京・吉祥寺に開いたバー「SCREW DRIVER」には、常時500種類以上のラムが並び、品揃えは国内随一を誇る。ヴィンテージラムの所有数は世界有数の6000本超。2008年に「日本ラム協会」を設立。株式会社SCREW代表取締役社長。

バーテンダーの質が審査を支える　静かに楽しむ酒文化、発信の場に

ウイスキーやスピリッツは、「洋酒」と言われるだけあり、当然海外では多くのプロや専門家によって品評されてきました。その「洋酒」を日本人の味覚で評価したら、一体どんな結果になるだろうと以前からとても興味がありましたし、さらにその品評会に日本のバーテンダーが多く参加してくださるとなれば、なおさら大変意義のある事にもなると思っています。元来、海外のバーテンダーはパフォーマンスやサービスに重点を置くスタイルですが、日本のバーテンダーは「酒」そのものについて本当によく勉強しています。TWSCの取り組みは、そんな日本のバーテンダーの知識の豊富さや、クオリティーの高さをより多くの方々に知ってもらう効果もあると思います。

昨年のTWSC開催時には、全国から約180人の審査員が集まり、普段から酒に真剣に向き合っている方々がこうしてTWSCに集結して下さる事自体、日本の強みそのものでもあると感じました。ラムの普及に取り組む立場としては、TWSCを通してラムの飲み手の幅が広がることも期待しています。

リモート審査を終えての新たな気づきとしては、一人の空間で、そして自分のペースで審査が行えた事で、完全にお酒に集中できた事です。それにより、何度も何度も飲み直す事ができ、最後の１点の微調整まで余裕をもって採点し、納得のいく点数がつけられました。ただ、昨年の審査会では他の審査員とのディスカッションも面白かったので、リモートと審査会を組み合わせるのも一つの方法かと思います。

今回、テイスティングに取り組みながらも日々考えさせられたのは我々バー業界の在り方です。新型コロナウイルス感染拡大防止のためバーの営業自粛要請は、あらゆる業界の中で最も長く続きました。僕にとっては、営業自粛中の吉祥寺店で、答えの出ない様々な事を考えさせられた時間でもありました（一体、バーと寿司屋がどう違うのか。そんな事が頭から離れませんでした）。コロナ禍は、バーやスピリッツが社会にとってマイナスなんじゃないかと、そんなネガティブなイメージを強く刻んだようにも思えます。もちろん、いろんな方々のご意見や、誤った発言の撤回により、誤解も解け始めたように思いますが、今後どのようにしてバーやスピリッツの正しい情報を深く浸透させていくのか、しっかり考えていく必要があります。

ウイスキーやラムといった酒の面白さは、それぞれの違いを楽しむ事であり、それは、エキサイティングな飲み会の楽しみとは正反対に、とても静かな楽しみです。しかし、ボトル単位ではとても高価なものも多く、一般の方々がそれぞれの違いを楽しむ機会はどうしても限られてしまいます。であれば、ゆっくりと各々の時間で酒の奥深さを知ってもらうために、TWSC出品アイテムのブラインドテイスティングのキットを一般に提供し、審査員の評価コメントと合わせ、オンライン講座を行ってみたら面白いかなと思います。やはり、ある程度の知識をもって味わう方が断然おいしさを感じられるという事に気づいて頂ける機会にもなると思います。

今後、さらに日本をはじめとするアジアのラムの出品が増えることを大いに期待しています。そしてウイスキーもラムも焼酎も、日本の造り手が受賞した際には、是非、造り手と審査員の意見交換の場をもち、「造り手はこの酒をどのように造り、審査員はこの酒の何を評価したのか」、そのような言葉を丁寧に重ねる事により、新たな問題点の発見、共有、そして、それはいずれ業界全体の発展に繋がると思っています。



バー愛好家（自由業）／ウイスキー文化研究所会員

Harada Kunihiro

原田邦博

1951年東京生まれ。42年間のマスコミ勤務を卒業して自由人に。ウイスキーの魅力に取りつかれ、いわゆる「特級ウイスキー探し」に全国の酒店を巡る。500本まではカウントしたが、以降は未集計。並行して各地の著名なバーを訪れ47都道府県を制覇、日本列島の北から南まで馴染みの店がある。

ニューボーン、出品相次ぐ　「日本生まれ」の成長追う場に

TWSC実行委員会にはそれぞれのプロが集まっていますが、お酒のプロに限りません。私は、ウイスキー文化研究所の前身スコッチ文化研究所の発足時からの会員です。会員の代表として実行委員会に加わり、審査員としては消費者目線で見ていくことが私の役割だと考えています。

ウイスキーの評価は、銘柄や年数に引きずられる傾向があります。同じ銘柄の12年と18年を比べれば、18年の方がおいしいだろうという先入観があります。そこでTWSCではブラインドテイスティングで審査を行っています。初回のTWSCでは、12年の方が高い評価を得た銘柄がありました。ブラインドテイスティングの成果です。一方で、ジンやラムなどはウイスキーに比べて点数が伸びにくいという課題を残しました。詳しい専門家がウイスキーほど多くないことが背景にあると思われます。

リモート審査を経験してみて、これも一つの方法とは思いましたが、審査会形式の方が緊張感があり、より集中できると感じました。初回は審査員の総数は約180人で、１アイテム当たりの審査員は６人でした。１アイテム当たり８人くらいに増やすことが望ましく、第３回を審査会形式で実施する場合、やはり一定規模の審査員を集める必要があるでしょう。

そして近い将来、TWSCでの評価が海外での評価につながってほしいと考えています。そのためにはTWSCに対する海外の注目度を上げる必要があります。日本に限らず世界中のお酒を審査の対象にしているのもそのためです。審査会が人々の耳目に直接触れるような取り組みも必要です。第２回が審査会形式で行われていれば、審査当日にテイスティングの体験コーナーを設ける計画もありました。もっとTWSCを知ってもらいたい。そのための工夫が必要です。

もうひとつ、いま日本各地に新しいウイスキー蒸留所が次々に誕生しています。早いところでは３年が経過し、対外的にもウイスキーと呼べる商品が世の中に登場しようとしています。

今回の審査にも「ニューボーン」と呼ばれる出来立ての製品が各地から届きました。あくまでブラインドでの印象ですが、以前は「やんちゃな子ども」のようなタイプが主流でしたが、最近は口当たりのよい、まろやかな酒質のものが多くなっていると感じました。ただそれが樽で何年か熟成された後、どのように生まれ変わるかは何とも言えません。このような純粋日本生まれのウイスキーを将来にわたって見続け、客観的に評価していくことも、TWSCの重要な使命だと考えます。



ウイスキー文化研究所 特別技術顧問／
元キリン・シーグラム富士御殿場蒸溜所チーフブレンダー

Hayakawa Ken

早川　健

1959年広島県福山市生まれ。大学院で醸造・発酵を学び、83年にキリン・シーグラム入社。2000年に富士御殿場蒸溜所のチーフブレンダーとなり、「富士山麓樽熟50°」「富士山麓シングルモルト 18年」等を開発。ジンやRTD（「氷結」等）、焼酎製品の開発にも携わる。15年麒麟麦酒を退職し、ウイスキー文化研究所の特別技術顧問に就任。クラフト蒸留所のコンサルタントも引き受けている。

日本の消費者目線で評価　ジャパニーズの発展を後押し

TWSCが始まるまで、国内のウイスキーの品評会はここ十数年ありませんでした。以前は独立行政法人酒類総合研究所が洋酒・果実酒鑑評会を開いていました。各メーカーの技術者や酒類総合研究所の研究者らが審査員を務めていました。評価の結果は商品のPRに使えないため、一般にはあまり知られていませんでしたが、メーカーとしては出品酒類の長所短所を知ることで、自社の製造技術の向上に生かすことができました。ウイスキー市場の低迷で出品数が減り、洋酒部門は2007年を最後に取りやめとなりました。

現在、クラフトウイスキーが相次いで誕生し、試行錯誤で造られています。品評会でいいものはいい、悪いものは悪いと評価することで、ジャパニーズウイスキー全体のレベルアップにつながると考え、TWSCに関わっています。

海外と違って、日本のようにスコッチもバーボンも



何でも飲むという市場はほかにありません。スコットランドで主に飲まれているのはスコッチというように、その地域で飲まれているのは自分の所の酒という構図です。日本のような広い市場で、何でも飲んでいる人たちはどんな評価を下すのかという関心を持ってTWSCを見ることもできます。

また、酒類総合研究所の鑑評会は造り手側の評価でしたが、TWSCの審査は一般消費者の評価に近いと考えます。たとえば、造り手の審査員は新しい味には否定的な傾向がありますが、TWSCの審査員は多様でチャレンジングな製品に「おいしければいい」という判断もします。消費者サイドに近い評価結果は、メーカーの自信にもつながるでしょう。

課題の一つは、出品数です。少ないと思います。一度出品して終わりではなく何度も出品してもらう、知名度を上げ、国内はもちろん、より多く海外企業にも出品してもらう努力をする必要があります。そのためにも継続することが大切です。新型コロナウイルスのため今年の会場での審査会は取りやめとなりましたが、リモート審査でも開催し、継続できたことは良かったと思います。特に今年は、事務局を務めるウイスキー文化研究所の提案で「ジャパニーズウイスキー」の定義が示され、その分類に基づいて評価する１回目だったこともあります。

私もリモート審査員を務めました。負担はありませんでしたが、審査会形式の方が望ましいと考えます。評価の視点はそれぞれ異なります。審査会で意見交換をすることが審査員のレベルアップにもつながります。今回は緊急事態宣言下で準備と審査が行われたこともあり、実施できただけでよかったと考えますが、リモート審査の一番のデメリットは審査員の数が減ったことです。昨年の審査員の総数は約180人でしたが、今回は37人。１アイテムあたりの審査員も５人程度に限られました。日本人を代表する評価として37人はぎりぎりの人数です。少なくとも50～100人の審査員で、１アイテムを６、７人で審査をする方がより信頼性がありますが、やむを得ません。昨年の１回目の審査方法はおおむね望ましい形だったと思います。来年同じレベルで実施し、継続していければと思います。

参加していただいた国内のクラフトウイスキーをはじめ多くのメーカーに、自分たちが造った商品に自信を持ってもらい、海外進出を果たす手助けになれればいいと思います。それが日本のウイスキー、スピリッツ業界全体の盛り上がりにつながると考えています。



日本テキーラ協会会長、日本メスカル協会顧問

Hayashi Ikuma

林 生馬

1968年東京生まれ。カリフォルニア州立大学で映画製作を学び、20世紀フォックス入社。ショーン・コネリーやジョージ・クルーニーらとテキーラを酌み交わし、その魅力を知る。訪れたテキーラ蒸留所は100以上。帰国後の2008年、日本テキーラ協会を創立。著書に日本初のテキーラ専門書『テキーラ大鑑』がある。

造り手の努力とセンスに報いたい　手間暇かけた酒の良さ伝える場に

2015年のブリュッセル国際酒類コンクールの審査に、土屋守ウイスキー文化研究所代表と一緒に参加しました。飛行機の席も隣同士で、日本のウイスキーは世界的にも評価が高い、日本でもコンペができないかという話になりました。日本はバーテンダーを中心に酒の経験値が極めて高く、評価軸がしっかりしています。たとえば、フェノール値（ppm）が高いものは飲んだことがある人とない人では評価が違います。日本ではppmが高くても唯一無二のものはしっかり評価されます。だから日本でもコンペをやるべきではないかという話になりました。その後しばらくして実現したのがTWSCです。審査員の多くがバーテンダーでした。高い経験

値に支えられた確かな審査が行われました。造り手の努力とセンスが報われた結果になったと思います。

TWSCには審査員としても参加していますが、第１回の審査会と第２回のリモート審査ではメンタル面での違いを感じました。百戦錬磨のバーテンダーと卓を囲むのと、自宅のダイニングテーブルとでは雰囲気は異なります。集まることで自然とメンタルコンディションが整うというのが、審査会の意味だと思います。一方で、リモートにすることで、広範の人に審査に参加してもらう可能性が広がります。ただ、リモートの場合、初回の審査会で行ったようなカリブレーション（基準合わせ）を実施すべきと思いました。審査の土台作りです。審査対象ではないウイスキーやスピリッツを審査員の皆さんに一緒に飲んでもらいながら、アロマやフレーバー、フィニッシュについて語り、好みの問題と、良し悪しの違いを確認してもらう。審査前に配信された動画を見ることができれば、メンタルコンディションを整える時間にもなるはずです。

テキーラには、モラセスと呼ばれる廃糖蜜が使われたいわゆるミクストテキーラと、100%アガベ（リュウゼツラン）テキーラの二つがあります。日本ではミクストが一般的で、テキーラといえば一気飲みや罰ゲームで酔うために飲む酒というイメージが強いですが、海外では100%アガベのテキーラが多く飲まれています。アガベは収穫までに６年以上かかり、単式蒸留器で２回以上蒸留します。手間と時間がかかる酒をじっくり楽しむ良さをもっと知ってもらいたい。TWSCで100%アガベのテキーラが高評価を得たことは大変良かったと思っています。

日本の飲食のマーケットでは、本当にいいものが評価されています。フランス料理もラーメンもコーヒーも、ニッチなものまでしっかり評価されています。洋酒の世界は残念ながら遅れてしまっています。ウイスキーもテキーラも、経験を積んで造られたものが日本のマーケットで評価されるようになるためにも、TWSCは続けていく必要があります。



株式会社ポットラックインターナショナル代表取締役／ショコラコンシェルジュ®

Hirata Sanae

平田早苗

東京都生まれ。1998年洋菓子製造販売会社に入社。独立後、チョコレートのテイスティング講座やスイーツを中心とした食のコンサルティングを手掛け、2007年に株式会社ポットラックインターナショナル設立。十文字学園女子大学健康栄養学科で「フードマネジメント論」を担当。ウイスキー専門誌『ウイスキーガロア』テイスター。

審査の透明性を強みに　出品者、消費者の信頼高める

私がウイスキーに魅了されたのは、チョコレートがきっかけでした。2004年からチョコレートのテイスティング講座を開催し、ウイスキーとのマリアージュセミナーを開く中ですっかりウイスキー好きになりました。チョコレートとウイスキーのテイスティングでは、拾うアロマやフレーバーは異なりますが、五感で味わう点は共通しています。ウイスキー文化研究所発行の『ウイスキーガロア』のテイスターを務め、その延長でTWSCに関わってきました。

TWSCは日本で新たに始まったお酒のコンペティションです。外国と日本では環境や食文化が異なり、日本人の感性や味覚で評価するという点に、この大会の意味があると考えています。

チョコレートの世界にもコンペティションがあります。世界的なコンペ「インターナショナルチョコレートアワーズ（ICA）」で受賞すると、商品にロゴマークを添付できます。金銀銅賞いずれにもA3サイズの賞状が用意され、それぞれの店先に飾られています。

ただ、チョコレートの世界的なコンペでは、誰がどのように審査しているかがあまり公表されていません。公表されている審査員も一部です。それに対し、TWSCでは審査員や審査方法を開示しています。今回でいえばリモートで行われた背景も説明しています。透明性があるからこそ信頼性が増す。これはTWSCの一番の強みであり、情報が正しく伝わるようさらに工夫する必要があります。

今回、リモート審査を経験しました。集中して審査ができたことで、リモート審査に手ごたえを感じています。第３回に向けては、リモート審査と審査会の両方を議論のテーブルに乗せ、それぞれの良い点・悪い点についてフラットに話し合いたいと思います。リモートと、集まっての審査会とのハイブリッドという選択肢もあります。

始まったばかりの大会なので、話し合いのプロセスも見せながら、より良いものに見直していければいい。大切なのは信頼性を高めていくことです。出品者にとっても、結果を楽しむ消費者にとっても、信頼性の高いコンペにしていければと思います。



株式会社フェルミエ取締役会長

Honma Rumiko

本間 るみ子

新潟県佐渡に生まれ、1977年チーズ輸入会社チェスコ入社。86年3月株式会社フェルミエを設立して独立。97年パリ開催の国際農業見本市のフランス農水省主催コンクールで、日本人初のチーズ部門の審査員を務める。講演活動やチーズスクールの講師を務める。NPO法人チーズプロフェッショナル協会会長。

受賞銘柄に込めた造り手の夢　共に味わってほしい

お酒を飲むというのは空間の文化です。ちょっと仲間が欲しいときにバーのカウンターで一杯を楽しむ方もいれば、寝る前の一杯が楽しみな方も。そういう世界は、生きていくうえで不可欠かという指摘もあるでしょうが、人生に楽しみは必要です。

TWSCには自分が造ったものの評価を知りたいという生産者、もっとウイスキーの世界を知りたいというプロの審査員も集まっています。評価は生産者の励みになり、より良いウイスキー、スピリッツが生まれることで消費者も喜び、生きる楽しみが広がります。

そのTWSCを支える審査員に、第１回に約180人のプロが集まりました。どの世界にも品評会はありますが、ウイスキー、スピリッツの審査員の裾野の広さに驚かされました。

チーズの世界にも品評会があります。世界的な品評会であるワールド・チーズ・アワードには日本からも出品しています。日本にも、欧州に引けを取らない高品質のチーズを生み出す作り手が誕生しています。同時に、出品するチーズを選ぶため、テイスティングができる国内の人材を育成する必要があります。資格認定試験や検定事業を行うNPO法人チーズプロフェッショナル協会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会場での試験は取りやめましたが、ネット配信で試験を行い、事業を継続してきました。チーズへの広い関心が、作り手を支えるからです。

ウイスキーもチーズも、酔えればいい、食べられればいいにとどまらないロマンや文化があります。共通するのは、つくられた土地の違いが味わいに現れること、何年も寝かせてよいものをつくるという夢があることです。あの場所で、あれだけの時間をかけて苦労してつくったと知ると、飲む側、食べる側も浪漫を感じます。

TWSCで高評価を得た銘柄について、造り手の顔が見える情報発信ができるとよいと思います。造り手が込めた夢を知ってもらい、いつか蒸留所を訪ねてみたいと思ってもらえるようになるのでないでしょうか。



星槎大学客員教授／アラスカ大学フェアバンクス校特別顧問

Itonaga Masayuki

糸永 正之

1947年福岡県北九州市生まれ。早稲田大学在学中の1975年、ブータン王国を初訪問。その翌年から６年間、ネパールのカトマンズを拠点にヒマラヤ各地を歩く。帰国後は、テレビの仕事で86カ国を取材。米国ナショナル・ジオグラフィック誌の極東駐在員、学習院大学の東洋文化研究所や東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所で社会学や言語学を研究。

審査は静かなる探検　酒へのリスペクトも熟成

私の酒への興味は、果実酒を除けば主食をつぶして造るということにあります。６年間暮らしたネパールでは、農地の周りに住んでいるのは小作人ばかり。小作人には、つぶして酒にできるほどの穀物はありません。酒は地主など富裕層の飲み物でした。そんな世界にいると、酒にまつわる社会や、酒が社会に与えた影響の方に関心がいくものです。

こうした考えを持つようになったのは、照葉樹林文化論を提唱した植物学者の中尾佐助先生（1916 ～ 93年）の影響です。中尾先生は著書『栽培植物と農耕の起源』（岩波新書）で食を論じたように、科学者としての自分なりの根拠を持ちながら、独創的な論を展開しました。作物の収穫までの農耕にとどまらず、加工や料理までを複合的な文化としてとらえ、食文化という言葉を使い始めた人です。

ウイスキーについても、もっと複合的に語るべきだと思います。最近は日本酒の老舗の蔵元でもウイスキーが造られていますが、そこで酒造りを始めるまでの歴史や、今も残る歴史的建造物についても、もっと語られるべきだと思っています。製造法や酒質だけでなく、

文化的な面にもアプローチすることで雑学的な面白さが伝わり、コアなウイスキー好き以外の人たちにも関心が広がるでしょう。

一方で、世界的に日本のウイスキーへの関心が高まっています。最近もブータンの知人から日本のウイスキーについて知りたいとメールをもらいました。TWSCの結果も英語で発表すべきでしょう。ターゲットは日本じゃなくて世界です。



サントリースピリッツ株式会社　名誉チーフブレンダー

Koshimizu Seiichi

輿水精一

1949年山梨県生まれ。73年サントリー株式会社（当時）入社。山崎蒸溜所での品質管理・貯蔵部門などを経て、99年チーフブレンダーに就任。手がけた「響30年」は世界的な酒類コンペティションInternational Spirits Challenge（ISC）で最高賞を3年連続4回受賞。2015年にWhisky Magazine社のHall of Fame（ウイスキーの殿堂）に日本人で初めて選ばれた。

情報公開の原則を貫き　信頼性高い国際コンペに

日本のウイスキーが世界的に認められ、「ジャパニーズウイスキー」が一つのブランドとして評価されるようになりました。国内には新しいウイスキー蒸留所が相次いで誕生しています。ここでブランド価値をさらに高めていくためには、本当に良い「ジャパニーズウイスキー」を提供していかなければなりません。そのためにもTWSCという品評会が必要だと考えています。

ウイスキーの評価には２種類あると考えています。一つは造り手による評価であり、もう一つはユーザーの評価です。

英国で開催される酒類コンペティションInternational Spirits Challenge（ISC）で11年間審査員を務めました。ISCの審査員は全員が造り手で、蒸留所のマスターブレンダー、またはディスティラーです。造り手たちは互いに審査をすることで、より良いものを造っていこうと品質向上への意識を高めます。それが業界全体の発展につながるのです。

TWSCの審査員にも造り手はいますが、バーテンダーの方が多く、ユーザー側に近い評価です。エントリーユーザー、コアなユーザーの両方に向けて、「これが魅力的なウイスキーだ」と評価し、情報発信しているのがTWSCです。この方法でも、メーカーの意識を高め、日本のウイスキーの品質向上につながるはずです。

ただしTWSCが、欧米以外で実施されている権威あるコンペティションとして世界で認められるためには、評価の信頼性をより高めていくことが大切です。それには、審査が公平で公正で納得できるものであることが絶対条件です。まだベストな状態とはいえません。これから改善していけばよいのですが、大切なのはどんな審査方法で、誰が審査員なのかといった情報について公開の原則を貫くことです。

ISCの審査員は10～12人です。負担は大きいですが、審査員全員が400～500点のすべての出品アイテムを評価し、賞は審査員の総意で決めます。一人でも納得しない審査員がいれば、金賞は与えられません。

TWSCでも審査員の負担は増えますが、評価の客観性を考えれば１アイテムの審査員の数を増やすべきです。ワインの品評会の審査員に聞いた話ですが、造り手からみれば製造上の欠点と思われるものを、ユーザー側の審査員が個性として評価することがあるといいます。TWSCでも起き得ることです。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモート審査で行いました。継続したことは良かったと思いますが、来年、再び審査会形式で実施する際は、審査員がそれぞれテイスティングをして点数を付けた後、自身の採点の根拠をグループ内で説明してはどうでしょうか。他の審査員の評価を聞いた上で自らの採点を見直してみる。そうすることで、審査員の総意に近い評価を出すことができるでしょう。多様な見方を知ることで審査員の質の向上にもつながるはずです。

ISCの出品者を見ていると、連続して高い評価を得ているメーカーもありますが、世界的な企業ながら毎回、あまり評価されないメーカーもあります。それでも出品し続けるのは、メーカーがISCを自社製品のポジションを知る大切な機会であり、客観的な評価の一つととらえているからです。

リモート審査となったTWSC2020に手を挙げてくれた出品者にこれからも継続して出品してもらえるよう、来年の第３回は評価の信頼性をさらに高める必要があります。TWSCで評価されたものが売れ、TWSCの評価結果が世界にインパクトを与える存在になってほしいと考えています。



株式会社BAISOKU代表取締役

Maki Takako

牧 貴子

福岡県生まれ。TWSC実行委員長の土屋守が、東京・赤坂のバーで主宰していたシングルモルトのテイスティング会に参加したのが縁で、土屋が1995年に刊行した『モルトウィスキー大全』に協力。掲載した全113銘柄のテイスティングボードの一人。代表取締役を務めるＢＡＩＳＯＫＵは中小企業のＩＴ化支援企業。ウイスキー文化研究所代表世話人。

コロナ禍でも継続実施　希望につなげたい

日本で世界中のウイスキー、スピリッツの品評会をすることに大きな意味を感じています。昭和生まれの世代にとって舶来品は今なおありがたく、日本人は欧米へのコンプレックスを抱えてきました。ウイスキーも欧米で品評される側でした。それを日本人が品評する、しかも趣味的な評価ではなく、ブラインドテイスティングなどの厳格なルールを設けて評価をする。そこにTWSCの価値があると思います。

加えて第２回は、新型コロナウイルスで日本社会がどうなるのか、という中での開催となりました。そんな時だからこそ、日本のウイスキーやスピリッツの文化はすごいと言わせたいと開催に踏み切った実行委員長の思いに共感します。

究極の目的は、ウイスキー、スピリッツ文化の裾野を広げることではないでしょうか。始まったばかりで、一般へのPRはまだこれからと思っていますが、一般の人が積極的に関われる仕組みが必要ではないかと考えています。ファン投票などもあっても良いかもしれません。コロナ禍にあっても、リモート審査で実施するという画期的な対応で継続できました。リモート審査ができたのであれば、テイスティング体験をリモートで行うこともできるでしょう。したたかにたくましく、ピンチをチャンス変えていくのがいいと思います。



ウイスキー文化研究所代表世話人／ウイスキーコニサー資格認定制度・審査員

Nakai Yasuyuki

中居靖行

1963年生まれ。ミニチュアボトルコレクション歴46年。国内外のコレクター仲間とも交流があり、コレクション数はシングルモルトを中心に約1万本。中には米国の禁酒法時代のボトルも。ウイスキー文化研究所の代表世話人として、資格認定試験やイベントなどのサポートをしている。

出品数増で審査の標準化を　アーカイブ機能にも注目

ミニチュアボトルを集めていたことでスコッチウイスキー・アソシエーション（SWA、スコッチの業界団体）と関わりがあり、土屋守さんと出会いました。以来30年のつきあいです。土屋さんがTWSCを始めるというので、造り手、売り手、飲み手それぞれのレベルの向上や酒の文化の振興につながるのではと考え、参加させて頂いております。コレクターとしてTWSCを見ると、酒のアーカイブの機能もあると考えています。結果がまとめられた公式ガイドブックには、エポックメイクなものが掲載されます。お酒の評価はもとよりボトルやラベルのデザインの変化の記録となり、そこには世相の変化が見て取れます。



TWSCは第２回を迎えましたが、自分としては課題が山積していると思っています。海外の大手酒造メーカーの中には、未出品の企業もあります。海外のコンペを見ていると、幅広い出品があることで、審査が標準化されていくところがあります。より多くの出品を求めていく必要があります。一方で、日本人の気質でしょうか、審査員は実に真剣で、繊細なニュアンスまで拾い上げた評価には、初回から安定感がありました。完全なブラインドテイスティングを実現するためのスタッフのボトル管理も評価に値します。

今回はリモート審査となり、自分も審査員として経験しました。透明性を考えれば審査会形式がより望ましく、次回は会場で一堂に会し実施すべきだと考えますが、多くの審査員の参加を可能にするリモート審査も、選択肢として残してよいと思います。私の場合、同じ環境で、土日のなるべく同じ時間帯に１日１フライトに限定して取り組みました。食事もそろえました。自分としては集中することができて、ある意味良い方法だと実感しました。今回、標準となる80点の銘柄を明

示したことも、基準がはっきりしてよかったと思います。

ウイスキー好きは日本の中では依然マイノリティーの中のマイノリティーです。いかに裾野を広げるかが業界全体の大きな課題です。そのためにもTWSCを継続し、ウイスキーの面白さや認知度を高める必要がありますが、若い人の関心をいかに取り込むか、そこには工夫が必要です。新型コロナウイルスの出現で社会は大きく変わろうとしています。ウィズコロナの時代に、バーは静かな雰囲気を味わう場所として残る一方で、インターネットを介して一緒にテイスティングをするオンラインテイスティングが、新しいウイスキーやスピリッツの楽しみ方として広がる可能性があります。若い人が関心を持ち、いずれTWSCの審査員になる。そんな流れが生まれることを期待します。



編集者／株式会社コンセプトブルー代表

Nose Takeshi

能勢 剛

日本経済新聞社のシンクタンク、日本消費経済研究所（当時）のマーケティング理論誌「消費と流通」編集部を経て、1988年より日経ホーム出版社（後に日経ＢＰ社）でライフスタイル誌を編集。「日経トレンディ」編集長、「日経おとなのＯＦＦ」編集長などを経て、2016年に独立。メディアプランニング・コンテンツ制作の株式会社コンセプトブルーを主宰。

酒の進化を知るバロメーター　伝えよう、受賞銘柄の誕生物語

実行委員長の土屋守さんとは30年来のつきあいです。ロンドンに住んでいた土屋さんに、当時、私が副編集長を務めていた雑誌の取材を手伝ってもらったのが始まりでした。帰国した土屋さんにモルトバーのマスターを紹介したところ、２人は意気投合。シングルモルトのテイスティングの会を開くことになりました。２年くらい続き、その成果をもとに、土屋さんは『モルトウィスキー大全』（1995年、小学館）をまとめ、ウイスキー評論家として認知されるようになりました。その土屋さんに品評会を開催するといわれ、実行委員を引き受けました。

個人的な関係とは別に、長く編集に携わってきたライフスタイル系の雑誌では酒を取り上げることも多く、この20年ほどは酒の進化が著しいと感じてきました。一つは、生産技術の向上です。ワイン、ビール、日本酒どれも技術的な進化を遂げています。ウイスキーでいえば、最近はウッドエンジニアリングといわれる樽の熟成の技術が上がっています。もう一つはクラフト化の流れです。少量ながら丁寧に造られたクラフト酒が出てくる一方で、大量生産する大手の品質も上がってきました。ウイスキーに到来している技術的な進化とクラフト化の流れを確かめる上でもTWSCは面白いと思いました。実際に昨年行われた初回TWSCでは、樽の熟成技術に長けた台湾のウイスキーやノンエイジのモルトウイスキー、あるいは日本のクラフト蒸留所が高評価を得ました。技術的な進化やクラフト化の流れが見て取れる面白い結果です。

TWSCではこうした審査を、公平で透明性がある方法で行っています。膨大な食に関する情報が流通していますが、バイアスのかかった情報が多いのも事実です。公募したアイテムを、スキルの高い審査員がブラインドでテイスティングするTWSCの審査は、先入観や忖度が入る余地がありません。いわゆる“がちんこ勝負”です。今年はリモート審査となりましたが、どんな審査方法で、誰が審査員かは公表され、透明性も変わりません。

課題もあります。昨年でいえば審査員は約180人と発表していますが、１アイテムの審査は審査テーブルの６、７人で行います。グローバルスタンダードな方式ではあるものの、より分かりやすく説明する必要があるでしょう。それから、審査員の評価の理由は公表していません。専門スキルの高い人たちの見方がわかれば、評価に納得感も高まります。

そのためにも、再び審査会形式で実施する際には、第一印象で点数を付けた後、同じアイテムを評価するグループ内で審査員同士が議論し、必要ならばその上での修正点数も併記する形にしてはどうでしょうか。リアルな審査の過程を記録し、公表することで、審査会で起きたドラマを共有する。結果についての信頼感が増し、プロの見方を伝えることもできます。

情報発信も重要です。審査結果をウェブで公表するにあたっては、ウイスキー選びに迷った人が参考にできるような工夫の余地もあるでしょう。受賞銘柄のリストだけでは、ウイスキー初心者には不十分です。わかりやすく、興味を持って理解してもらうにはストーリーが必要です。例えば、受賞した銘柄の誕生までのストーリーをチーフブレンダーが語る、といったコンテンツができれば、読んだ人は「飲んでみたい」という気持ちになるのではないでしょうか。一般消費者の認知度を上げることは、TWSC審査の普遍性、信頼性を高めるためにも欠かせません。



弁護士・司法書士／ウイスキー文化研究所代表世話人

Shibuya Hiroshi

渋谷 寛

1997年渋谷総合法律事務所創設。ペット法学会会員・常任理事を務め、欧州やアジア各国の司法制度を視察。雑誌『ウイスキーガロア』のほか『ウィスキー大全』シリーズ（土屋守著）、『日本ウイスキー世界一への道』（嶋谷幸雄・輿水精一著）など多数のウイスキー関連書籍に写真提供などを行う。NPO 日本スコットランド協会監事、英国市場協議会会員。

審査員の不断の努力が支え　継続開催してさらに高みを

TWSCの事務局を務めるウイスキー文化研究所が、スコッチ文化研究所として発足してから約20年。この間、海外の品評会で日本のウイスキーが高く評価され、世界的な知名度を上げてきたのを見てきました。日本の食は海外に比べて繊細だと感じています。日本で日本人による品評会を開いたらどんな結果になるだろうかと考え、土屋さん、林生馬さんと話し合い、実現したのがTWSCです。

TWSCは審査員の皆さんの高いレベルに支えられています。消費者に近いバーテンダーの皆さんが多数参加してくれたことで、売れてほしいものというよりも、ウイスキーやスピリッツを楽しむ人が求める良さが反映された結果になっていると思います。

大切なのは続けていくことです。新型コロナウイルスの影響を受け、第２回はリモート審査になりましたが、継続できてよかったと思います。私も審査をしました。リモートの良さは時間に制約がない点です。満腹時を避け、体調がいい時間帯を選び、１日１フライトと決めて取り組みました。複数フライトを審査することも可能で、審査会形式だった昨年は午前、午後それぞれに３フライトをこなしました。リモートはじっくり取り組めてよいのですが、審査会に比べると信頼性の担保が課題である点は否めません。

来年は審査会形式での実施が望ましいですが、感染症対策が引き続き必要になるでしょう。その上での提案ですが、黙々と審査をする場面が続くので、一般の方やマスコミが来場したときに面白いと感じられる工夫が必要です。テイスティングの体験コーナーを設けられると良いと思います。

ぜひ審査員を続けていきたいと考えています。そのために健康に留意し、普段からいろいろな酒類を試すなど、飲み方を工夫しています。チャレンジ精神が生んだ新しい個性を評価する目も必要です。不断の努力の積み重ねが重要だと考えています。



カーニバル評論家／ラテン系写真家

Shirane Zen

白根 全

ラテンアメリカを中心に、30年以上、６大陸150ヵ国超を訪ね歩いてきた。探検・冒険から登山、旅、さらには民族調査やボランティア活動まで、世界を舞台に活動する行動者たちのネットワーク「地平線会議」同人。国際カーニバル評議会ボードメンバー。『ウイスキーガロア』で旅のコラムを連載。著書に『カーニバルの誘惑―ラテンアメリカ祝祭紀行』など。

審査は静かなる探検　酒へのリスペクトも醸成

人はなぜ酒を飲むのか？　一言でいうと、気分を変えたいからでしょう。普段とは違う気分を味わいたいという、人間の本能的欲求が存在するのだと思います。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ステイホームの自粛生活の中、家飲みが増えているのも気分を変えたい人が多いからでしょう（ストレス解消を言い訳に、習慣化して飲み過ぎてしまうのは心配ですが……）。嗜好品であるウイスキーやスピリッツの頂点を真剣に追求しながら、絶対評価と相対評価のせめぎ合いに審査員一同が頭を悩ませる。それがTWSCの面白さです。

TWSCはいわば異種格闘技です。正解を追求しているのではなく、個性的なキャラクターや誰もが好む定番のボトル群の中から、どれがより完成度が高いか、説得力のある評価を模索しつつ比べているのですから。そこには「比べる意味があるのか」という指摘もあります。それを冷静に分析し、さらなる高みに到達していこうとしているのは、まるで地図の空白地帯を探検するようなパイオニア・ワークでしょう。実行委員長の土屋守さんが大学の探検部出身という影響もあるのかも知れません。大英帝国のスコット南極探検隊のメンバーだったチェリー・ガラードは、探検を「知的情熱の肉体的表現」と言い表しましたが、探検活動の本質は、結果よりはむしろ未知を既知に変えていく過程にあります。

そう考えると、審査員がどのような思いで評価をしているのかにとても興味がわきます。コマーシャルベ

ースでの評価が存在する中、自分の経験と感性、価値観で評価を下さねばなりません。ブラインドテイスティングですから、一人だけずれているということも考えられます。結果が商品の売れ行きに影響することも意識させられるでしょう。審査はとても静かですが、探検的行為の過程はとても面白いものがあります。

酒の専門家ではない部外者の自分がTWSCに関わるのは、別の立場からの視線による物言いがあった方がいいと土屋さんに頼まれたから。そんな自分が提案するのは、ぜひ一般の方にも、日常とは異なる酒の飲み方をしている審査の様子を見てもらえたらということです。そこにあるのは、自分の全能力を投入して、目の前の酒を解き明かしたいと探検的行為に真剣に取り組む姿です。審査員になったつもりでテイスティングを体験できると、さらにおもしろいと思います。今までの酒の味とはまったく違って感じられるのではないでしょうか。

酒との関係も、酔うためだけのものではなくなり、造り手の英知が結晶した一本へのリスペクトが生まれると思うのです。それは、AIが分子構造などのデータを分析して結論に至る工程とはまったく別の文脈です。自分の感性を頼りに未知の荒野を手探りで進んでいく。知的興奮と高揚感が立ち昇ってくるような審査を期待しています。



一般社団法人SAKEとWINEを愛する女性の会代表理事／
フェミナリーズ・世界ワインコンクール名誉会長

Tomoda Akiko

友田晶子

12,000人のお酒と文化を愛する女性たち（SAKE女）のリーダー。ソムリエとして酒類業界に携わり、飲食関連のイベント企画・開催、酒類全般のコンサルティングに取り組む。著書多数。田崎真也氏オーナー、ワインバー「アルファ」（銀座）代表。「シュヴァリエ・ド・タスト・フロマージュ」（フランスチーズ鑑評騎士）。

業界全体盛り上げるコンペに　國酒の焼酎部門にも注目を

ワインのソムリエとして、そしてトータル飲料コンサルタントとして、すべてのお酒に関わっていくというのが私の仕事のポリシーです。ウイスキーやスピリッツにももちろん興味があり、TWSCに関わってきました。

ソムリエとしてワインの、また、きき酒師として日本酒・焼酎の審査に関わってきましたが、ウイスキーなどの蒸留酒はアルコール度数が高いので審査には蒸留酒ならではの技術が必要です。にもかかわらず、初回のTWSCに審査員約180人が集結し、結果を出せたことの意味は大きいと思います。ソムリエ・きき酒師として醸造酒文化を見てきた私たちが、蒸留酒を評価するという手ごたえや面白みもありました。ブラインドテイスティングを徹底するため、計画的に準備されていた点も見事でした。

お酒の世界は二極化していいます。ブランド価値が高まり、一般には手が届かない高級なものがある一方、酔う楽しみをもたらす日常的なものがあります。評価の高いお酒の存在は、お酒全体のブランド価値を高めます。身近な商品が評価されれば底辺が広がり、業界全体が盛り上がります。TWSCは、三角形のトップも高く、底辺も広い、そんなコンペになればいいと考えています。

今回のリモート審査には私も参加しました。集中して臨むことができ、納得のいく審査ができたと思いますが、審査会という場の良さもあります。ただ、グループごとに話し合いで審査をすると、強い意見に引っ張られてしまうことがあります。協議して審査することには反対ですが、評価のあり方について事前に全員で説明を聞いたり、審査後にグループで意見交換をしたりすることで、基準が自ずと見えてくる、会場審査の良さはそこにあります。

フランスで開催される「フェミナリーズ世界ワインコンクール」は、世界の女性ワイン専門家が審査するというユニークなものです。私は日本広報大使兼名誉会長として、審査員派遣やメーカー様の出品のお手伝いをしています。14回目を迎える2020年は、新たに日本酒部門が設けられ、大変に注目されています。女性が選ぶワインや日本酒は、おのずと消費が広がることに着目したPR効果の高いコンクールともいえます。というのも、出品者の方々からよく聞くのが、やはり、入賞の暁には、販売増に結び付く効果や具体的手段が欲しいということ。TWSCで好成績を収めた出品酒は、バーでの取り扱いが増えるなど具体的な効果があるので、出品者にとってもモチベーションの高いコンペになると思います。

TWSCが今年から焼酎部門を始めたことに期待しています。焼酎は日本が誇るスピリッツです。日本の國酒として世界のスピリッツ市場に出ていくためにも、ウイスキーやスピリッツの品評会へのチャレンジは大きな意味があると信じます。ぜひとも、焼酎部門の結果にも注目してもらいたいです。

Best of the B

ついに決定！ 2020年ベスト・オブ・ザ・ベスト

シングルモルトの一番は何か。
いわば国境を越えた“無差別級”のコンテストが今年も行われた。
TWSC2020の最終審査ともいえるベスト・オブ・ザ・ベストのブラインド審査がリモートで行われた。
シングルモルトの真の実力者は――。

TWSCの目玉の１つが、国や地域の垣根を越えた“ベスト・オブ・ザ・ベスト”を決めることだった。第１回の昨年は最もエントリー数の多いシングルモルトについて、このベスト・オブ・ザ・ベストを実施した。第２回の今年はシングルモルトだけでなく、他のカテゴリーにも広げたかったが、新型コロナウイルスの影響でそれは叶わなかった。しかし、シングルモルトのベストを決めようという、この賞についてだけは今年もやるべきだという声が多かった。昨年も特別に編成したテイスティングパネルに、サンプル小瓶を送ってリモートで審査してもらっていたので、方法はよく分かっている。

今回も実行委員会の審査員と、雑誌『ウイスキーガロア』のテイスター６名の計13名（昨年は14名）が、テイスティングパネルに選ばれた。各人は５月から６月にかけてのリモート審査に続いて、再びブラインド審査に臨むことになった。

今回選ばれたボトルは最高金賞の７本と、金賞の１位から７位までの計14本だった。昨年が10アイテムだったから、４本増えたことになる。それだけ今年のほうが甲乙つけ難い、高得点ボトルが金賞上位に並んでいたからだ。その内訳と審査員の顔ぶれについては表１、２を見ていただきたい。

昨年と違ったことが、もう１つある。それは点数の付け方である。昨年は10アイテム（もちろんブラインド）を１位は10点、２位は９点という風に順位を点数換算して、ベスト・オブ・ザ・ベストが決められた。しかし、これは分かりづらい、慣れ親しんだ方法と違いすぎるという声が寄せられたので、今回は本番審査と同じ100点満点で評価し、その点数をつけてもらうことにした。



テイスティングパネルに14のサンプルが送られたのが６月上旬。締め切りは３週間後の６月29日（月）と決められていた。返送されてきた13名のジャッジの点数を集計し、その10位までをリストにしたのが表３である。14のアイテムの構成はスコッチのシングルモルトが６本、ジャパニーズが３本。アメリカンが１本、そして台湾（カバラン）が４本だったが、結果は台湾のカバランが上位３位までを独占することになった。しかもすべてソリストで、この３つは揃って最高金賞にも輝いている。４位、５位、６位はジャパニーズの３本で、スコッチはトマーティンの30年とグレンフィディックの18年と21年の３本のみが、トップ10にかろうじて入っている。

結果はカバランのすごさを、まざまざと見せつけられる格好となったが（ソリストのフィノも第８位にランクインしている）、上位６アイテムまでをアジアのシングルモルトが占める結果になったことは、特筆に値することだと言わねばならない。それも、すべてブラインドでやった結果なのである。

「打倒カバラン」「打倒ジャパニーズ」。来年の第３回TWSCでは、スコッチやアイリッシュのシングルモルトの真価をぜひ見せてもらいたいと思っている。そしてこの「ベスト・オブ・ザ・ベスト」は、シングルモルトだけでなく、ブレンデッドウイスキー、ゆくゆくはバーボンやその他スピリッツ、ジンやテキーラ、ラム、さらにブランデーにも広げていきたいと思っている

2020年７月10日
TWSC実行委員長　土屋 守

est 2020

Best of the Best 2020

カバラン ソリスト ヴィーニョ バリック

Kavalan Solist Vinho Barrique

700ml　55.6%　Kavalan Distillery 台湾



表1

エントリーボトル

No	ベスト・オブ・ザ・ベスト　エントリーボトル
1	グレンファークラス 25年
2	グレンファークラス 1977 22年 ザ・ファミリーリザーブ
3	グレンフィディック 18年 スモールバッチリザーブ
4	グレンフィディック 21年
5	ザ・シングルトン ダフタウン 18年
6	トマーティン 30年
7	エッセンス・オブ・サントリーウイスキー 山崎蒸溜所 リフィルシェリーカスク
8	エッセンス・オブ・サントリーウイスキー 山崎蒸溜所 モンティージャワインカスク
9	駒ヶ岳 1991年 28年 シングルカスク No.160
10	ウエストランド アメリカンオーク
11	カバラン ソリスト バーボン
12	カバラン ソリスト フィノシェリー
13	カバラン ソリスト オロロソシェリー
14	カバラン ソリスト ヴィーニョ バリック

表2

審査チーム　敬称略・五十音順

海老沢 忍	澁谷知美	土屋 守	早川 健	松木 崇
倉島英明	渋谷 寛	友田晶子	原田邦博	
静谷和典	鈴木勝二	中居靖行	平田早苗	

表3

審査員の各点数と上位10位のリスト

順位		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	平均点
1	カバラン ソリスト ヴィーニョ バリック	95	91	88	92	98	95	85	96	87	86	92	95	94	91.85
2	カバラン ソリスト バーボン	94	91	88	90	97	93	84	88	93	88	94	97	96	91.77
3	カバラン ソリスト オロロソシェリー	98	83	89	92	88	90	83	95	92	90	93	94	95	90.92
4	エッセンス・オブ・サントリーウイスキー 山崎蒸溜所 リフィルシェリーカスク	93	93	92	91	92	85	84	94	85	88	91	92	92	90.15
5	駒ヶ岳 1991年 28年 シングルカスク No.160	97	90	87	91	93	93	92	90	84	88	95	90	81	90.08
6	エッセンス・オブ・サントリーウイスキー 山崎蒸溜所 モンティージャワインカスク	95	93	90	90	86	86	85	93	87	85	89	94	94	89.77
7	トマーティン 30年	97	89	90	93	85	89	85	89	83	87	93	93	93	89.69
8	カバラン ソリスト フィノシェリー	93	93	85	92	94	86	84	91	85	87	90	93	90	89.46
9	グレンフィディック 21年	94	93	93	88	95	83	86	89	85	86	87	85	87	88.54
10	グレンフィディック 18年 スモールバッチリザーブ	93	93	91	90	89	86	87	87	83	85	88	86	90	88.31



隔月（奇数月）12日発売 / 1,200円（税別） / 128〜136ページオールカラー / A4変形

定期購読

ウイスキー文化研究所オンラインショップで毎号個別にご購入される場合
（定価：1,320円+送料500円）×6回＝10,920円（税込）

送料無料 7,640円 税込

■ウイスキーガロア定期購読のお申込み
ウイスキー文化研究所オンラインショップ　https://www.scotchclub-shop.org

お問い合わせ
ウイスキー文化研究所
〒150-0012　東京都渋谷区広尾5-23-6　長谷部第10ビル2F　Tel：03-6277-4103（平日10-18時）　Mail：whiskygalore@scotchclub.org

JAPAN WHISKY RESEARCH CENTRE ONLINE SHOP

ウイスキー文化研究所　オンラインショップ

ORIGINAL BOTTLE



アイリッシュシングルモルト ¥27,500

グレンマレイ ¥9,900

POTSTILLS POSTER



ポットスチルポスター
各¥880〜



ORIGINAL GLASS

オリジナルグラス（6脚セット）
¥3,300



POTSTILLS TRUMP
ポットスチルトランプ
¥1,650

ORIGINAL TOTE BAG



オリジナルトートバッグ
¥1,320〜

TWSC
公式ガイドブック2019も
販売中



¥1,100

www.scotchclub-shop.org

※掲載商品は一例です。価格はすべて税込（送料が別途かかる場合があります）。詳細はオンラインショップ「ご利用ガイド」をご覧ください。

お問い合わせ
ウイスキー文化研究所
〒150-0012　東京都渋谷区広尾5-23-6　長谷部第10ビル2F　Tel：03-6277-4103（平日10-18時）　Mail：info@scotchclub.org


HYDE™
IRISH WHISKEY
数々の賞を受賞したプレミアム・アイリッシュ・ウイスキー
A TRUE TASTE OF IRELAND
「すべては樽で決まる」
Hyde No.8
Heritage cask
スタウトカスクフィニッシュ
甘く豊かなホップ、ビスケット、コーヒー豆のニュアンス。バランスが良く、甘いキャラメルの余韻。滑らかでクリーミーな仕上がり。
Hyde No.3
The Aras cask
バーボン樽熟成
Hyde No.6
President's Reserve
シェリーカスクフィニッシュ
商品に関するお問い合わせ先：0120-866-023（平日 9 時～ 17 時 30 分）お酒は 20 歳になってから。お酒は楽しく適量に。
飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与える恐れがあります。
日本酒類販売株式会社


EGAN'S
IRISH WHISKEY
お問合せ先 アイデン www.id-shoji.com
六代続くウイスキーづくりの匠
イーガンズ一族がお届けする
アイルランドウイスキーの真髄
FROM THE HEART OF IRELAND
イーガンズ・ウイスキー
GOLD WINNER
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2019
イーガンズ10年
東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2019
金賞受賞
WWW.EGANS.JP
20歳未満の飲酒は法律で禁止されています。
フォーティチュード
ヴィンテージグレイン
10年
レガシーリザーブ

AKAYANE

TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION

赤屋根クラフトジン 美 風（BIFU） 46% 750ml （左）
赤屋根クラフトジン Gin Heart 春 46% 720ml （中左）
赤屋根クラフトスピリッツ 山 椒 45% 720ml （中右）
赤屋根クラフトスピリッツ オリエンタル カルダモン （右）
50% 300ml

GOLD WINNER TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020



美風

BIFU
BIFU is Japanese craft Gin

SILVER WINNER TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020
BRONZE WINNER TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020



赤屋根製造所 Since 1908 佐多宗二商店

東京ウイスキー&スピリッツコンペティション 2020
最高金賞受賞 ラム ケーンアイランド

GOLD WINNER TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020

ケーンアイランドは2016年オランダ・アムステルダムに新しく設立された「インフィニティ スピリッツ」社によるブランドです。オーナーの「ハイン スミット」氏はヨーロッパ最大のラム流通業者「E&A シーア」社のブレンダーでもあり、そのノウハウとコネクションを利用して、最高品質のラムを世界中から買い付けボトリングしています。

シングルエステート 700ml / 43%

シングルアイランド 700ml / 40%



ニカラグア 12 年　トリニダード 8 年　バルバドス 8 年　オーストラリア 4 年　ジャマイカ　キューバ

CANE ISLAND RUM
国内正規輸入代理店

光 TOKO
株式会社 都光
TOKO TRADING CO.,LTD.

お問い合わせはこちら
TEL：03-3833-3541
https://www.toko-t.co.jp

CHUGOKU JOZO CO., LTD.

TOKYO
WHISKY & SPIRITS
COMPETITION

CATEGORY WINNER
Japanese Gin
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020

GOLD WINNER
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020

JAPANESE DRY GIN
SAKURAO
HAMAGOU

GOLD WINNER
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020

JAPANESE DRY GIN
SAKURAO
ORIGINAL

Essence of JAPAN.

○お酒は20歳を過ぎてから。○飲酒はあなたのペースで楽しくどうぞ。○飲酒運転は法律で禁止されています。
○妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に影響を与える恐れがあります。○飲んだ後はリサイクルにご協力を。

SAKURAO DISTILLERY

www.sakuraodistillery.com
広島県廿日市市桜尾一丁目12番1号

Superior GOLD
最高金賞
SHOCHU WINNER
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020
－焼酎部門－

最高金賞

本格焼酎
黒麹
薩摩の誉

SILVER WINNER
TOKYO WHISKY & SPIRITS COMPETITION 2020

銀賞

JIN7
series00
JAPANESE CRAFT GIN

FOLLOW US

創業明治８年
有限会社大山甚七商店
鹿児島県指宿市西方 4657 番地
TEL0993-25-2410 FAX:0993-25-5260



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁じられています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は適量を。

KOKUBU
輸入総発売元 国分グループ本社株式会社
https://www.kokubu.co.jp/

